七周年記念號

無産階級戦闘雑誌

進め

日本大衆黨全國大會の階級性を守れ

第七年・四月・第四號

定價十錢

本號一瞥

日本大衆黨全國大會と我等の任務……卷頭言
山本宣治氏の死は何を敎へるか……下村勝夫
新社會の土臺、眠れ山宣……淺田進太郎
山本宣治氏の勞農葬に列して……宮川勝
山本代議士刺殺に關する聲明書……全國勞農青年同盟
ユーモリスト山本宣治氏……熊刈司郎
鬪爭の機は熟する……本城廣信
徹底的抗議を全國に捲き起せ……永田繁澄
全農の山本氏暗殺に關する指令と聲明書
大阪無産團體協議會の聲明書

――第五十六議會を通じて見た田中内閣の運命――
淺原健三、播磨道夫、前川正一、古市春彦、根本宗光、前田河廣一郎、布施辰治、熊谷宏明、平松清美、青木潮、水野明作、鄭然圭、西京吉、杉山元治郎、佐藤護郎、龜井貫一郎、吉川源藏

全國農民組合第二回全國大會宣言……
第五十六議會の反動性……佐々木徹三
無産青年政治教育の任務……全國勞農青年同盟教育部

全土戰報

故山本氏勞農葬に於ける全青大阪支部の弔詞……大阪 平松清美
日本大衆黨醜怪問題に對する聲明書……全青大阪地方支部
旗靡く閑谷の戰線……閑谷支局 篠原生
大衆を欺すダラ幹への鐵鎚……野津勝光
激怒一二……滋賀支局松山大策
忠清南道の暴壓!元山勞働爭議!……福山支局赤火鋤生
香川縣下の小作人は機を狙つてゐるぞ……香川縣 松洲賢一
富山地方時報……富山支局村山銀次郎
山陰に於ける若人へ……島根 田中好子
縣廳下に大勝した横濱市電爭議應援記と批判……工藤勝一

朝鮮社會運動小史(一)(資料)……劉成鎭
市町村會選擧の目標……石川力三
■進め社だより■
移住民(創作)……金光旭
社會主義運動思出話(其八)(特別讀物)……岡野辰之介

支局網を全國に張り廻せ

(七週年の辭に代へて)

同志諸君

われらの「進め」も愈々七歳の年を迎へる事となつた。われわれは、年ばかり取り、歴史が古いからと云つて誇るのではない。支配階級の暴壓と、經濟難によつて號を重ぬる事僅かにして倒れ行く無産階級の言論機關の數多き中にあつて、赫々勝利的力をもつて押し進んで來たといふ事は、ひとへに「進め」を支持しられた同志諸君の階級的熱意そのものに基くものである。幾多の誤謬を犯して來た「進め」を常に正しい方向に導いてくれた同志の力に基くものである。七週年を迎へてわれわれの誇るものはこれだ。即ち「進め」が年をとつたといふ事ではない「進め」を守つてくれた偉大な同志の力をこゝに誇りたいのである、

同志諸君

われわれは更に突進しなければならない。資本主義の牙城の崩るゝ日まで、無産階級の解放の日まで、全勞農大衆の眞先に起つて「××主義」の×壘を覆へして勇敢に戰はねばならない。戰ふ事は、更に諸君の階級的努力にかゝつてゐる。「進め」をして戰鬪的言論戰鬪たらしめる事は、一にかゝつて諸君の力の如何にかゝはつてゐる。

同志諸君

われわれは七週年紀念號を送り出すと共に「進め」に課せられた階級的使命を斷乎として發揮せしめる爲めに左の任務の遂行を誓はなければならない。

一、全勞農戰線の戰鬪的統一の促進

二、反××主義的傾向との徹底的抗爭

三、支配階級との果敢なる鬪爭

かゝる任務を强力に遂行せしめる爲めには如何なる事が必要か。

同志諸君

われらの勢力が、工場に農村に殖民地にあらゆる地帶に侵入してゐなければならぬ。しかし單にあらゆる方面へ基礎をもつといふことだけではならぬ、それを固く結びつけた統一的力がなければならぬ。この點においてわれらは過去において何等の仕事をしなかつたと云つてよい。今やわれわれはこの任務の急速なる解決を迫られてゐる。清黨運動以來、この鬪爭は漸く開始されてゐる。日本大衆黨の大會を前に控へて、支局網の全國的組織と、その統一的活動が特に重大となつてゐる。

同志諸君

われわれは「進め」が最近理窟つぽくなつて來たとの非難を耳にする。勿論われわれはこの批評の適中する事を痛感してゐる。しかし、われらは主張をもたなければならない。主張なき啓蒙雜誌なるものはあり得ない。「進め」が過去において啓蒙雜誌なるの故をもつて、無産陣營の傍系を遊いで來たや否やは暫くおいて、今われわれは無産陣營の正面に立ち、その先頭に押進まねばならぬ。清黨運動以來、われわれが日本大衆黨の反幹部勢力を完全に指導しながらも、尚痛感したものは「進め」の全國的組織の不活潑であつた。

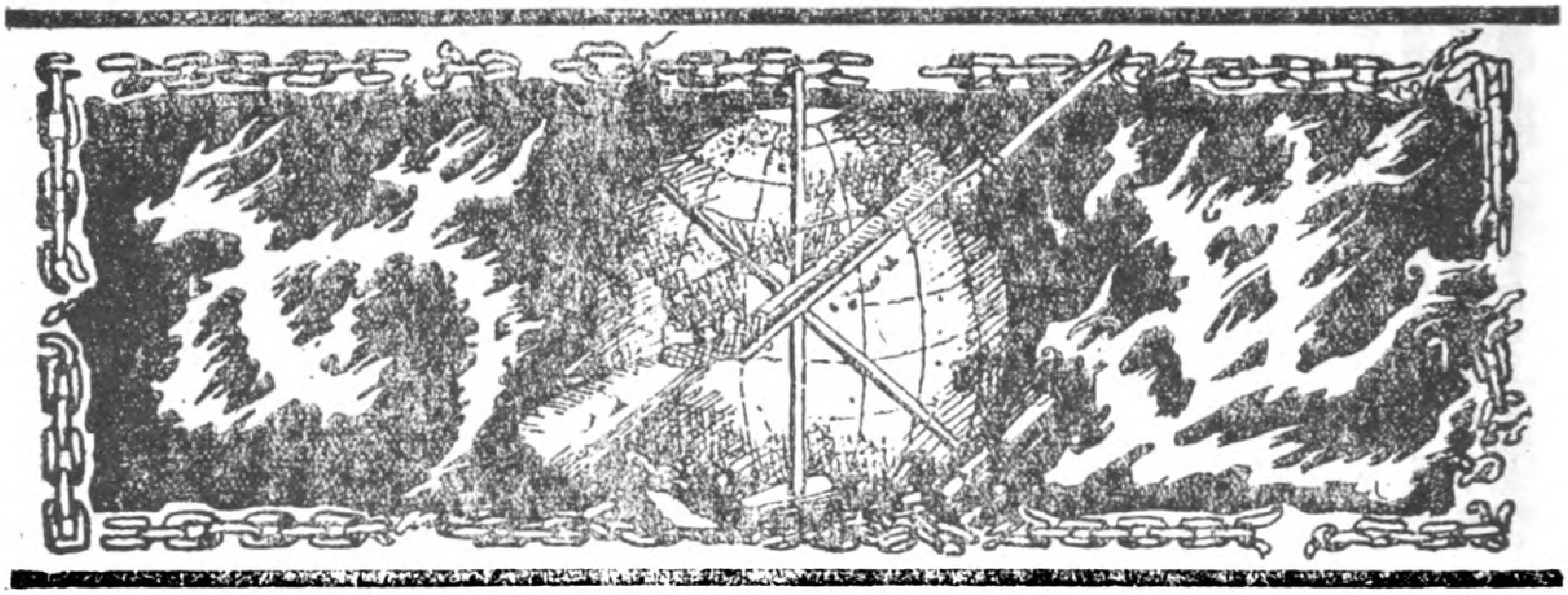
同志諸君

われわれは今や全勞農大衆の支持を得べき良き狀勢に置かれてゐる。われわれは單に月並な激勵や一人よがりの自慢をもつて七週年を紀念すべきではない。支配階級と抗爭する爲めに、支局網を全國に張り廻せ――全土の勞働者農民に一人殘さず進めを讀せ――の合言葉をもつて新しき鬪爭の準備をしなければならぬ。

支局規定を申込め、進め七週年を紀念せよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬國の無産者團結せよ



第七年◆戰鬪◆進め◆雜誌◆第四號

日本大衆黨全國大會におけるわれらの任務

日本大衆黨全國大會は四月中に開催さるべきにかゝはらず、本部に巣喰ふ反動幹部の一團はひたすら延期政策をとりつゝあるやに聞く。彼等は何故に大會を延期せんとするのか。日本大衆黨創立以來、何等の闘爭をも敢行せず、逆に×旗をかついでファシスト政黨への轉換を試み、田中反動内閣の別働隊として行動せんとしたが階級的黨員の一せいに憤起するところとなりその陰謀を完全に打破られた彼等は、又かゝる非階級的行動が曝露されたにかゝはらず、恬然として本部に居据はり、一切の階級的運動に中傷漫罵をもつて是事とした彼等にとつては、大衆の公然の討議を最も忌嫌ふのである。先の淸黨運動に關する統制委員會の時、又中央執行委員會の時において、或ひは暴力團を雇入れ官憲と結託して黨員の傍聽を禁止したではないか。しかしながら、大會においては黨員の發言を封づる事は出來ない。彼等が大會を延期せんとする理由は明瞭である。われわれは、かゝる幹部の方針を是認してよいのか、否、斷じて否である。全土の無産階級は黨大會の卽時開催を執拗に要求してゐるではないか。

全土の勞働者農民諸君

反動日本は恐慌の嵐に包まれてゐる。第五十六議會では何が議せられたか、治安維持法××決た。小選擧區制還元た十七億の軍事豫算た。かゝる反動議會と勇敢に抗爭した山本宣治代議士は遂に××××の爲めに鮮血に染みて打倒れた。多くを語らずして明かではないか。支配階級の攻勢愈々激しき時、大會を延期せんとするは正しく鬪爭を回避し、彼等の恐慌に呼應せんとする以外の何者でもない。彼等の大會を延期せんとする理由のすべては、黨の非鬪爭的傾向を永久化せんとする事と、全黨員の憤起が彼等の支配を飛越へて階級的飛躍の足場になる事が恐怖する反動的社會民主主義者通有の意圖に基づくものである。

大會の卽時開催の要求こそ、日本大衆黨員の先づ爲すべき任務である。然らば、われわれは大會において何を爲すべきか。日本大衆黨全國大會の階級性を守る事でなければならぬ。何故なら、平野、麻生、河野一派の反動幹部は、この大會をして、平素の常套手段に洩れず、いゝ加減な逃げ口上と反動への轉換を企てるであらうから、諸君は斷乎として彼等の陰謀が粉碎せねばならぬ。然らば、黨大會の階級性を守れとは如何なる事か、

一、反動幹部の追放である。淸黨運動に對する彼等の非階級的行動を追窮し、日本大衆黨員をファシズムの旗下に號令せんとする彼等の陰謀を粉碎する事である。

二、日本大衆黨を固定化し社會民主主義的統一の埒内に止めんとする傾向と坑爭する事である。前衞的鬪爭を孤立化せんとする行動の一切は如何なる理由があらうとも反動的であるからた。

三、口に左翼的口吻をもらし實踐において反動幹部に追隨する日和見主義者の排擊である。

以上の主要任務を最も強力に遂行する爲めには、先づ何よりも階級的黨員を大會に動員し組織的鬪爭を行ふ事でなければならぬ。

全國大會を卽時開催せよ

反動日和見主義者と坑爭して大會の階級性を守れ

日本大衆黨員に×××××の政府樹立のスローガンを與へよ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山本宣治氏の死は何を教へるか？

下村靜夫

（一）

山本宣治君の死は吾々に何を敎へるか。

無產階級解放運動への支配階級の彈壓が極度に强化し××××化した事である。彼等は×××××的彈壓をあらゆる方面に張り廻す、而も合法的なる假面を着せた方法をとり入れる事を得意とする。しかし、その假面が國民の名によつて、卽ち所謂帝國議會の名によつて着せられようとも、××××たる事に變りはない。そして假面を着た×××××の執行者は假面を着てゐるが故に正直な×××××に對しては衷心からの遺憾の意を表明する。

山本宣治君の死が、正直な×××××の爲めであつたが故に、田中反動内閣は議會において深甚の弔意を表し遺憾の辭を手際よく述べてゐる。しかし、彼等は合法的×××××の毒牙に倒れた！無產階級の前衞×××に對しては、國賊として止むを得ない制裁であるとなし死刑法まで作りあげた。この所謂合法的×××××の毒刄に倒れたものは、洵に枚擧に遑ない程である。こゝにおいて正直な×××××は、支配階級にとつては幼稚極まる方法であつて、彼等はかゝる方法に對して恐怖さへ感じかけてゐる。

たゞ山本宣治君が倒ほされたのも、支配階級の彈壓の一つの表現である事に間違ひはない。たゞ賢明な支配階級の彈壓政治の軌道からいささか離れて突發したところの事件であつたが、支配階級の×××××的彈壓な—よしそれが合法的假面を着てゐようとも——はつきり全勞農大衆の目に映じさせた。

（二）

われわれは今支配階級の無產階級にとり來つた彈壓の跡を眺めるならば、歷然として彼等の焦慮と苦心の跡を發見する。

治安維持法の制定からその改惡、×××××の檢擧、舊勞農黨、舊勞働評議會、舊全日本無產青年同盟の所謂左翼三團體の解散、新黨準備會の解散、無產者新聞の發行禁止等に彼等の意企を最も雄辯に物語つてゐる。そして、支配階級のかゝる彈壓が、左翼戰線にのみ向けられるといふ事も、社會××の歷史的必然性の所產である。彼等は社會民主主義的傾向に對しては何等の恐怖をも感じてゐない。むしろ、この傾向を助長さへしてゐる。何故なら、無產階級の擡頭が歷史的に必然的なものである事を知つてゐるが爲めに、この歷史的生成物を、自分等に都合よく安協せしむる爲めには社會民主主義は眞實に愛嬌のよい託兒所であるからだ。

彼等は何よりも×××的行動を恐れる。こうした行動こそ、眞實に資本主義社會の根幹を搖り動かすからである。もしそうでなかつたなら、彼等は×××を公認し、共產主義者を優良なる國民として取扱つたであらう。

われわれは一歩進んで支配階級が左翼戰線に加へる彈壓の社會的根據をさがし求めねばならない。

（三）

嘗て資本主義が、封建主義を打倒して勝ち誇つた若々しき姿をもつて寬容をふるまつてゐた時代——卽ち自由主義時代の資本主義は、全社會の生活を保證してゐた。矛盾の種子は數多く包藏しながらも、丁度人間が元氣潑剌なる時においては襲ひくる病菌を克服して行く樣に發展して行く勢力はかゝる矛盾を打壓して行くだけの餘裕をもつてゐた。

反資本主義の傾向を漸次作り出してはゐたものの、社會的經濟學的條件は、この傾向を決定的なものとして形成せしめなかつた。資本主義の罪惡を洞察した所謂正義の士はたゞ空想の中においてのみ理想社會を求めてゐたフーリエ、シモン、オウエンの空想的社會主義者の出現は、資本主義が科學的な力の形成を生み出たす決定的な經濟學的條件のなかつた事を示すものである。科學的な經濟學的な條件か生んだ思想、認識でなかつたがために非科學的な空想の樂園がこれらの正義感の持主の頭を去來してゐた。頭腦で考へた樂園であるがために、それに到達する道はすべての人々の敎育と正義に訴へる以外に道はなかつた。そうした傾向は、この理想社會を作りあげる人々を、敎育ある人や紳士に求めざるを得ない。されは、かゝる條件を具へてゐた人々は、プロレタリヤではなく有產階級であり、インテリゲンチヤであつた。空想的社會主義がかうした方向を辿つたのも、非經濟學的根據の上に立つてをり、唯心論の上に立脚してゐたからである。

しかし、資本主義は次第にその機能を失つて行つたと同時に、反資本主義的力の——卽ち資本主義社會××の條件を生み出たしつゝあつた。この物質的條件の上に形成されたものが科學的社會主義である。資本主義社會の崩壞への道を明示する——否更に廣汎なる人類史の生成過程を說明するマルクス主義の出現である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

權力も宗教も道德もすべてが、生產關係の卽ち經濟學的關係の上に咲きいでる花であるとマルクスは說明する。經濟學的關係の變化は、かつてそのよき助產婦たりし一切の上部構造を桎梏にまで到達せしむる。經濟學的必然の生み出した階級の自己保存的構造は固定化し經濟學的關係の進み行く道を防害する。しかし、社會の土臺は巨人の如く濶步する。こゝにおいて社會××の時代が到達すると、唯物史觀は說明する。新しきイデオロギイは古きイデオロギイと對立する。イデオロギイの對立も空想と空想の對立である間は問題にはならぬ。又資本家的イデオロギイ卽ち實體的イデオロギイに對立するものが、空想的——例令それが反資本主義的なものであらうとも——イデオロギイである間は何でもない。が、支配階級のイデオロギイに對立する對應物が、實質的、階級的、××的イデオロギイとして登場し來るや、このイデオロギイはすでに、かの空想的社會主義者の樣に人々に夢を與へない。生き生きした行動を與へる、こゝにおいて支配階級は階級的理論をもつ大學教授を放逐し學問の自由は褫奪される。

社會變革の歷史的生成勢力は、期せずして支配權力に衝突する。

資本主義社會を變革する決定的主力勢力はプロレタリアートである。彼等は生產群である。洵に「社會の富も繁榮も、われらの汗の末になるわれらが手をはおく時は世界は暗になりぬべし」の生產階級である。しかし彼等は資本主義の犧牲者であり、資本家の繁榮の爲めの奴隸である。資本主義によつてその生活をふみにぢられる階級である。彼等は夥しき生產能力をもつてゐる。しかし資本家による生產機關の私有は、この生產能力を臺なしにする。社會の窮乏を消滅せしむる能力をもちながら、資本家的生產樣式に支配さるゝが故に窮乏に苦しむ階級である。彼等は資本主義と戰ふ事によつて失ふものは鐵鎖のみの階級である。

經濟學的關係の桎梏に迄轉化した資本主義は、擴大し行く矛盾を克服せんと奔走する。沒落の資本主義——かゝる時代を帝國主義時代と區分する。われわれは今や正しくかゝる時代に生活してゐる。

自由主義時代は繁盛の資本主義であり、帝國主義時代は沒落の資本主義である。

資本主義の弔鐘の打鳴らされる時である。帝國主義的資本主義を特徵づけるものは何であるか、資本主義生產樣式の合理化の急速なる進展である。世界帝國主義戰爭の危機である。××的無產者運動の彈壓である。

第五十六議會は正にかゝる帝國主義ブルヂョアジイの意企を端的に表現したものであると云へよう。

十七億に餘る軍事豫算、小選擧區制への還元、治安維持法の改惡事後承諾案の可決、等々を、彼等は壓倒的力をもつて押通そうとしてゐる。帝國議會は、帝國主義ブルヂョアジイの執行委員會以外の何物でもない。

（四）

社會民主主義は無產階級解放の理論ではない、彼等は飽くまで合法主義者であり、議會主義の幻影に醉ひしれる。支配階級との妥協によつて勞働ボッスと政治ボッスを成長せしめる事を約束する以外には、たゞ無產階級の階級意識をにぶらさんとする目的があるばかりである。

無產階級の解放は、×××によつて指導されたる××的行動によつてのみ達成される。支配階級は眞實の敵をよく知つてゐる。彼等は社會民主主義が三十%や二十%の敵である事は知つてゐても、百パーセントの敵でない事を知り拔いてゐる。聯立內閣の閣僚の椅子を與へれば容易に妥協のつく事を知つてゐる。社會民主主義の首領は又それを無上の榮譽と考へてゐる。ドイツ、イギリスで社會民主主義者が大臣の椅子を得ても無產階級は解放されたか、否。

（五）

帝國主義ブルヂョアジイの執行委員會たる帝國議會と戰ひ、一切の資本家地主の政府と戰ひ、××××の政府を樹立せんが爲めに勇敢に抗爭した山本宣治君は、支配階級の喜ぶ議會主義者でない爲めに、××主義者でない爲めに、帝國議會に於て完全に其發言を封じられた。

彼は全農大會の時祝辭を述べてこう云つた。「私は一人になつても淋しくはない。私を守るものは全無產階級ではないか」この時、農民は一齊に嵐の樣な拍手を送り「そうだ俺達が守つてゐるぞ」と激勵した。

この勇敢な山本宣治君は、無產階級の進出をその戰鬪的鬪爭を××せんとする治安維持法死刑法が第五十六議會を通過した夜、帝國主義ブルヂョアジイのカルモチンが議會で調合せられたる夜、卽ち紀念すべき一九二九年三月五日、白色テラの一兇漢は短刀をもつてその生命を奪つた。

勞働者農民の解放の爲めの輝ける鬪士はかくしてこの地上から姿を沒した。しかし、彼の赤熱の信念と鐵の如き行動は全勞働者農民の胸に生きてゐる。

三月八日の夜の東京驛頭において彼のふるさと京都に歸らんとする遺骨を見送つた天地をゆり動かす悲しみと殺氣に滿ちた萬歲の聲を。××××事件の一週年紀念日たる三月十五日青山齋場の周圍を埋めた雪崩の樣な群衆を思へ。山本宣治の死を弔ふ事は感傷的儀禮によつてのみ終始するものではない。

×××××の政府樹立への鬪爭實體の建設への果敢なる大衆的展開こそ彼の死を意義あらしめるであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

白色テロと抗争して山宣を弔へ

新社會の土臺、眠れ山宣

深田道太郎

三月六日の朝何氣なく新聞を見てはつとした。

「山本宣治がやられた。おいみんな起ろ起ろ」と私は二階で寢てゐた二三の同志を揺り起した。

横濱市電ストライキに應援に行くべく、松本から出て來たK君が

「なんだ、なんだ——いつたいどいつの仕業だ」と怒鳴り乍ら飛び下りて來た。

畜生！とうとうやりやがつたな犯人は七生義團々員の黒田保久二——だがわれわれは直感する。いや俺ばかりぢやない、いやしくも無産階級の一人なら、ピンと響いてくる。山宣を殺した奴はどいつだ國賊だと宣傳し、この兇行を間接に煽動した奴はどいつだ。

新聞の上に幾つかの目が輝く、何だ斬奸状だと——生意氣な——

×

一九二九年三月五日は日本無産階級にとつては永久に忘れられぬ紀念日となつた。血に染みて甦れた同志、更に治安維持法が議會を通過した日だ。恐るべき白色テロのみなぎつた日だ。悲しみの深き日だ。しかし、全土の同志の胸に何事かゞ深く決せられた日だ。

×

夕方、大阪の同志より電報來る

「ヤマセンノヤドニミマエニユケセイメイシヨヲダセ」

電報が來なくとも、見舞に行かうと思つてゐたところだ。同志宮川君が行つて來た。私は聲明書を書く。

×

帝大佛教青年會館の告別式、同志小川を赴かせたが、念の爲め弔電を送つておく。夜、小川君が歸つて來て、電報は來なかつたと云ふ。電報盗人がゐるのだ。

×

三月八日夜山宣の遺骨がふるさとの地へ旅立つた夜だ。東京驛はまるで警官の波だ。

「やあ、どうだ」肩をたゝかれる。憲兵だ。「うかうかすると檢束する」高等係だ。だが高等係はなれなれしく近寄る。

「君等の方ぢやないから、たいした問題ではないだらう」——ふざけるな。ふり切つて逃る。

「××君——」ふり返ると全國勞農青年同盟のS君だ。

「昨日本郷へ行つたか」

「うん、行つた、泣いて歸つた昨日の朝横濱ストライキで檢束されて、出されるとすぐ飛んで行つたよ、」

「だが、日本大衆黨の連中は來てゐないね」

「ダラ幹がゐるからだ」

×

プラットホームに押寄せる。靜かに靜かにと警官が聲を嗄して制止する。黒山だ。「脱帽」と誰かゞ叫ぶ。マグネシユームが飛ぶ・どよめく群集、傷しき犠牲者の遺骨は同志の手に守られて列車内に「萬歳」の聲は期せずして搖ぎわたつて連續する。何人かゞ演説をする聲がする。しかしそれも消えて分らない。

さようなら、山宣、靜かにねむれ、しかしお前の精神を闘爭を繼ぐ者は數百萬の無産階級ではないか。お前の屍を肥料として×××××の政府は樹立されるのだ。

進め社本部の聲明書

三月五日夜、治安維持法××法が衆議院を通過した夜、我等の代議士山本宣治氏は黒田某なる反動漢の爲暗殺された。我等は驚駭した。しかし乍ら、無産階級解放運動の世界的歴史を展開する時、其處には血と苦闘の連續であり、牢獄の中に死するもの、絞首臺上の露と消えるもの、或ひは反動の爲めに斃るゝもの數知れざる有樣である。我等は山本宣治氏が何故に暗殺されたかを今やはつきり知つてゐる。即ち、帝國主義ブルジョアジイの牙城に肉迫する、勞働者農民の先頭に立つて勇敢に抗爭してからに外ならない。

そうだ。われらはこの尊い犠牲者の死を犬死に終らせてはならぬ山本氏の流した鮮血を以て全土の勞働者農民の胸を燃やすのだ。戰ひだ！戰ひだ。

そうだ。われらの戰場は到るところ墓場である。捨石無くして理想社會の建設はあり得ないのだ同志山本宣治君のむくろの上に、勞働者農民の輝ける社會は咲き出でるであらう

全土の勞働者農民諸君

我等は血にまみれたる拳をふり上げて資本家地主の牙城に迫らなければならぬ。同志のむくろを踏み超へて戰場へ！戰場へ、

一切の資本家地主の政府打倒

×××××の××を樹立せよ

右聲明す

昭和四年三月六日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ユーモリスト山本宣治

執刈司郎

山本宣治氏について思ひ出話を述べろと云はれた處で、後にも先にも今までにほんの二三度しきや顏を合せた事がなくそれさても別に親しく話を交した譯でもなく士[illegible]個人的に特に親交があつたさ云ふでもなく、たゞ戰線の上に於て時折瞥見するだけの機會しか得なかつた私にとつては、特に氏についての感慨無量な追憶の持合せがないのを殘念さする。たが、たゞ一つ面白い或は變な思出話がないでもない。これは、先日數人の同志さ集まつて、雜談がおのづさ山宣氏の話に集中統一され、各々氏についての思ひ出やら何やらを吐き合つてゐた時、フト思ひ出して私が此の話をしたら座にゐた二三人が「さう〱、あの時は笑はせたね」さ、また昔の笑ひを笑ひ通した程だつたから、確かに面白い事柄には違ひない。但し、あまり戰鬪的なものではない。

大正十三年の春の頃だつたか、何でも早稻田に社會科學研究會が出來て間もなくで、同研究會は新興の意氣仲々旺なもので、潑溂たる鬪爭心に燃えて研究會や演說會に宣傳活動しておつた頃、當時我國に於て眞面目な性欲學者として有名だつた京大講師山本宣治氏を懇々招聘して「性學講座」と銘打つて四日間に亘る連續の特別研究講座、たから勿論特別の聽講料を徵集して、校內學生の興味を大いに集めながらその講座を開いたのだつた。聽講生は研究會員外の學生からも殺到したので、かなり澤山の學生が、此の神祕なる人生の一重大問題としての「性に關する科學的研究」の研究のために集まつたのであつた。

此の頃の山本宣治氏は、無產階級運動に關係を持つた當初であつた、京大の先生をやり乍ら一方政治研究會京都支部の運動に盡力しておつたやうに思ふ。それはさても角その講座を始めるに當つて、學生一同の前に山本氏を紹介したのが、多分大山郁夫氏であつたさ思ふ。大山氏は柔軟撓屈性の缺除したやうな眞劍な態度を以て、たからまた我々學生も心から敬けんな氣持ちを氏に對して懷いてゐたのであるが、その大山氏が紹介の勞をさられたので、學生一同は皆、冷靜、嚴格な學者の樣な顏をして性學者山本教授を迎へたのである大山氏さ共に阿部磯雄先生も例の笑ふこさのないやうな顏をして端然さ始終聽講せられてゐた。

その講座の何日目だつたか忘れたが山本講師の講義が段々進んでなんでも「自瀆」に就ての研究にまで來た時、氏は色々な統計やら調査圖表を示しながら、極めて眞劍な態度で講義を續けられて來た。學生は鉛筆をノートの上に走らしてゐた。そしてその研究項目の說明の終りに來た時、曰く

「そも〱かゝる行爲に對しては自瀆さ云ふが如き論理的意味を含む名稱を附して呼ぶはよろしくない。獨りで行ふこさが自瀆であるなら二人の場合は相瀆さ呼ばねばならぬ――」氏は此の說明の前に、自瀆の動機さか理由さか、それの惡影響の程度さやらを論じ、そして、靑年の心身に及ぼす惡影響は自瀆それ自體の行爲に因るもそれを犯した者が懷くさころの自分の行爲に對する恐怖心にある、さ云ふやうな事を論じられたのだつた。

そして、更に彼は話をつゞけた

「二人の場合が相愛であり一人の場合が自瀆であると云ふのは論理上からも論理的妥當を缺いてゐる。たから、これは、むしろ自愛さでも訂正する方がよい」さ。

安部磯雄先生の顏を再生產したやうな氣持ちで聞いてゐた學生の顏の一部分がしまりを解いてうづめいて來た、眞白な敎室の空氣の何處か、紅色にゆらめいて來た。ノートを走る鉛筆がハタさ止んだのは勿論である。「さころが一つ困つたことがある。それは何かさ云ふに、日本の書翰文の慣用語に、時節柄御自愛肝要、さ云ふ事がある――」で、

さしも嚴肅なる科學の研究室が突如、一大コーラスによつて、たちまち音樂堂に變つたこさたつた大山氏も安部先生もスカタンを喰つて、あごの筋肉が顏面一體に躍動するのを何うするこさも出來なかつたらしい、その失笑にあつて彼はにやりさもせず話をつゞけて行つた「安部敎授が久しぶりで笑つた」さ、當時の早大新聞のゴシツプに出てゐた。

明徹な彼山宣の頭腦からほさばしる此ふ云ふ人を食つた皮肉は到る處に聞かれる、このこさ

山本代議士刺殺に關する聲明書

逼迫せる帝國主義〇〇の危機を控へて資本家地主政府の飽くなき彈壓の〇〇化は今やその極に達せんとしつゝある、わが無產階級運動をば根底から絕滅せんとする彼奴等の幻想は言語に絕したる〇〇さ彈壓のネツ造さによつて數百の同志を〇〇につなぎ數十の鬪士を×から×に葬り去つた。そして今また我等はこゝに新なる犧牲者の一人を奪ひ去られた。×××××××〇〇の兇刃のために同志山本宣治は斃された。

同志山本の仇は市井の無賴漢黑田某では斷じてない。同志の仇我等の敵が何者であるかを我等はヘツキリさ知つてゐる。

同志山本はわが無產階級の選出せる代議士であつた。彼は代議士でありながら彼の階級意識の尖銳なるが故に、議會に於てすらも完全に言論の自由を奪はれてゐた。支配階級の利權取引所〇〇〇〇のための第五十六議會に於て同志山本は彼奴等の正體を暴露するために、發言の機會は遂に一秒も與へられなかつた。而も資本家地主の〇〇は山本代議士に對する斯る彈壓では未だ飽足らず、××××××××××××××××××××××××

そして曰く「黑田某は正當防衞のために彼を殺したのだ」「山本は平常から尾行をきらつてゐた、警戒の點については當局の責任ではない」「黑田の行動には何等背後もないらしい」斯く言辭こそ彼奴等反動支配の〇〇を自らの口を以て物語るものではないか。我等は敵が何者であるかをはつきり知つて居る。

この敵によつて、我等の進軍の途上に、尙幾多の鬪士の血が流されるであろうこさも我々は覺悟してゐる。この敵に對する鬪爭、資本家地主階級に對する命を賭しての鬪爭、この鬪爭による我等の決定的勝利、これこそが解放運動の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

途上に倒れた多くの犧牲者への何よりのヘナムケだ。今日の如く激烈なる階級戰のたゞ中にあつて、徒らに同志の死に泪する感傷は我等には許されない。同志山本の償死は我等の進軍に更に一つの拍車とならねばならぬ。

同志山本を斃した敵、××××〇〇に對する憎惡は、我等の鬪爭に更に大なる力を與へねばならぬ。同志山本の屍を跨越え血潮をわけて我等は力強き鬪爭の巨歩を茲にまた一歩押進めるのだ。

勞働者農民の自衛團をつくれ、

帝國主義〇〇の危機とたゝかへ

戰鬪力を集中して資本家地主の堅壘に迫れ

昭和四年三月八日

全國勞農青年同盟

弔詞

同志山本代議士は反動の兇刄に斃れた。然し乍らその精神は斷じて亡びぬ。我等は同志山本の遺志を繼き、飽く迄も被抑壓大衆解放戰をたゝかひ拔くことを堅く誓ふ。

昭和四年三月八日

全國勞農青年同盟

山本宣治氏の勞農葬に列して

宮川勝

三月十五日だ。僕が行つた頃はすでに青山祭塲附近はナッパ服やコール天服で占領されて居た

僕が青山へ何しに行つたか××と鬪爭にもえるナッパ服の群が何しに集まつたか別にそれを云ふ必要もないだらう

三月十五日だ。明記せよ。一九二八、三、一五此れは帝國主義戰爭を前にしてブルジョアジーの生存を怖やかすプロレタリヤ勢力の擡頭に××した帝國主義日本の支配階級共が×××××を振つて多數の我等の前衞鬪士を××した日だ。プロレタリアの鬪爭の歴史的過程に於て歴史に逆行し昔日の享樂の夢忘れがたく有產者社會の存續によつてのみ優越的地位をかち得るブルジョアジイが壞れ行くバベルの塔に似た自階級の保壘を死守せんとしてあれ狂ふ最後的亂舞の××の爲に哀しくも傷ましき最後をとげた我等の先驅同志は幾人あらうか

帝國主義戰爭を〇〇〇にと絶叫しつゝ勇敢に鬪爭し、あわや獨逸革命が成就せんとした直前に反動の手に〇〇されたカールリープクネヒトを思へルクセンブルグを。世界的歴史的偉業を果す迄に土に埋もれしロシヤ幾多の革命家を今や没落の歴史的必然の過程に直面していやが上にも反動化を餘儀なくせられた支配階級の陰謀に依つて彼等の立法府帝國議會に勞働者農民×××治安維持法改惡案が通過した其夜社會民主々義者の公然の裏切の中に最後迄敵の保壘に肉迫して勞働者農民の利益を代表して敢然と闘つて來た我等の山宣は支配階級ゝ〇〇××××一反動團の末輩の爲に斃れたのだ

〇〇〇〇に對する暴壓の日より一箇年後の三月十五日傷しき階級鬪爭の犧牲者山本宣治氏の勞農葬が行はれたのだ。その日の式場たる青山祭塲附近は勞働者農民と官憲とで一ぱいであつた

我等の自由の最後の一片迄も剝奪し同志の死に對する追悼をさへも彈壓せんとする奴等は五百に餘る正私服の官憲の〇〇に依つて我等を牽制せんとしたのだ

時間と共にナッパ服コール天の群集は續々と集まつて來る、中には多くの婦人も居た。此大集團には物怖へた樣に〇〇共は右往左往して居る。口々に何言かワメキ作ら我々の集團を分散させようとして狂ホンして居る。哀れな奴等だ。

悲憤と鬪爭をひそませた群集は默々とした行動の内に此れに答へつゝ默々として動いて行く。その動きの底に感ぜられる大きな鬪爭的な力の素張らしさは鬱積した火山の噴煙の樣に××の前を思はしむる物すごいさん嚴さがある。墓地に或は舗路に默々しながら時間を待つて居た群集が時期を見計らつて祭塲の門前近く崩れを打つて押しよせた時の力の動きには官憲も手出しも出來ずあつ氣に取られて居たではないか

一同が門に這入つてから官憲に守られながら犬國會の素寒貧共が何か悲鳴を揚げつゝ〇〇〇ポク滅のビラ散をやつて居たのも〇〇的勞農葬にふさわしい餘興ではないか。此の瘦犬共の勇敢な行動に對して門の内から拍手を送つて茶化して居たのも中々皮肉ではないか

かくて一同は祭塲に這入つた。祭壇には黑布のも章を掛けた二つの靈の星形が置かれて居た。一つは傷ましい鐵鎖をおはされ一つは素朴な花環でかざられて居た。今更此の二つの星形が誰と誰であるかわ云ふ必要もあるまい。一人は山本氏であり一人は〇〇〇〇の犧牲者である臨の臺灣で自殺した〇〇〇〇だ〇〇〇〇は葬儀はおろか追悼さへも公然と名を出す事は禁壓されてゐるのだ。

戰慄と今更乍らの憤激とある悲しみとに交さくした感情の中に式は進められて行く。式と云つても別に徹底した唯物論者である兩氏の追悼に抹香くさい坊主も必要でないはずだ。暫時の默祈の後大山氏が嚴肅な悲痛を極めた開會の辭を述べ臨官の爲に中止を命ぜられ會悼者の憤激の中に官憲の暴壓下に各團體の悲憤に滿ちた弔辭が述べられた。いづれも二言三言で中止になり民衆の憤激は愈々高潮して行く。此の間の事は別にくわしく書く必要もないであらうと思ふ。徹頭徹尾〇〇の暴壓にわざわいされて式は二三時間で終り京都の本葬に對する形態を決議して五分間の最後の默悼にうつつた。

僕は山本氏は二三回演說會その他の處で會つたきりで個人的には知らない。又〇〇にせよ一昨年運動に這入つた後輩ではあり所屬を異にして居た關係上知る由もないがあの長身ないつもニコ〳〵して居た山本氏の顏は忘れる事が出來ない。三月六日の夜光榮館の氏の最後の部屋に告別に行つた時悲痛極まりなき何事かを決心した同志大山氏に守られて横たはつて居た姿が浮んで來る。額や鼻の上や頰に何かでひどく突かれた樣な傷を受けた氏の顏は悲しかつた。人間に取つて死は悲しく淋しい物であらう。而し我々は同志の死に對して單に悲しむ事は犧牲に斃れた

同志に對する最大のものではないであらう。斃れた同志の屍をふみ越へて更に鬪爭へ鬪爭へ百倍の勇氣を持つて最後の勝利をちかふ事こそ最大なものであらねばならない。

力には力を持つてせよ。武裝には武裝を持つてせよ。

帝國主義戰爭反對。

惡法治安維持法絕對反對。

××××の政府を樹立せよ。

鬪爭を通じて同志の死を意義あらしめよ。

鬪爭の機は熟する

本城廣信

彈壓がひどい。假令それが田中反動内閣の本領としても餘りにひどい。然しこのひどい彈壓は却て我々の目的を達成するための刺戟剤となり、有効化する事を忘れてはならぬ。田中義一は彈壓一點張りで良く取締りをして天下太平と考へるであらうが、然し×は×の母體の彈壓そのものが×××××××を醸成しつゝあること、今やプロレタリア××の有力なる力を日本のあらゆる方面に内包し飽滿せしめつゝあることを知らない。

神聖同盟と云うキリストの博愛を高揚して其の實は彈壓專制復舊主義を是事としたメッテルニヒは田中義一のやうに得意然たるものであつたらう。然しその專制彈壓の結果はどうであつたか。彈壓專制に次ぐものは何であるか。それは世界の全歴史が有力なる眞實の事實を附與してゐるではないか。ロシヤ××の專横、佛國××の彈壓、その次には必然事としてロシヤ大革命、佛國大革命を結果してゐるではないか。然らば專制首相田中の××の次に來る×××××の當然に受くべきものは×××××の××ではないか。

今の民政黨、當時の憲政會――首相加藤高明――は制限附通選擧法を可決發布すると同時に、治安維持法を公布した。次に更に專制なる田中義一は一九二八年六月治安維持法改正案なるものを幕府で可決した。緊急勅令の名の下に。そして一九二九年三月五日にはその事後承諾案が衆議院を通過した、その紀念すべき夜、その案の絕對反對者である我等の同志山本宣治は白色テロルの犧牲に倒れた彼山本は××案の犧牲になつたのた

そして其は三月十九日貴院を通過した。思へば佛國の七月革命はサンクローの勅令――それは未開の議會を解散し言論出版の自由を拘束し選擧權を極少限にした――に最も原因するではないか。おゝ全日本のプロレタリアートよ！蹶起せよ！同志山本の靈はそれに依つてのみ一の慰安を感ずるであらう

此の改正案を見ると、×××××を企てたる者、及び××××制度×認を主張してそれを企てるものは十年の懲役、死刑に處すと云うのがその大意である。然りブルの奴等、又彼奴等の走狗現存政府等は××××××、×××××××を最も怖れるであらう。何となれば奴等は此等の社會組織に於てのみ、專斷恣の如くなり、大衆を搾取壓迫することが可能であるからである。たが奴等がどう頑張つても社會の必然性を如何ともすることは出來ない。我等は一部少數者の幸福等眼中にはない。大衆の幸福、被支配階級の解放、勞農大衆をして××階級たらしめると云う事が我等の心を充たしてゐる。我等は少數が幸福を得て大多數が不幸を見ると云う現實の社會現象を最も忌憚嫌惡する。たから此と正反對の社會現象を到來せしめんがために必死となつてゐる此の如き眞の社會正義に立脚して大勢を見る時は、現存社會の一切の禍害たる×××××××××××××××を、例令同志山本の如く兇刃にその命を奪はれ様とも斷々乎として叫ばざるを得ないのである。此にブルの奴等や反動政治家等が反對するのは、卽ち奴等が現存社會の腐敗の根源たる此等の組織に依存してゐるがためである。そこで我々は斷々乎として奴等と對立せねばならぬ。反抗せねばならぬ。そして現存社會を××××××して仕舞はねばならぬ。

ブルの奴等は多數政治とか民衆政治とかデモクラシーとか大衆の心を迎へることに必死となつて叫んでゐるが、又議會政治云々をしてゐるが、然し本當に奴等の言を成就させるには――多數政治の實をあげるには奴等の××が絕對に必要である。反動政治家でさへも口に「多數者の幸福を計るために社會政策を實行す」なんて大きな事を云ふ、本當に奴等がさう思つてゐるのならば、その主張を絕對に成就させる可能性を有する×××××××××××××に反對する必要はないではないか。

選擧法改正案が出來上りさうた田中反動政府の希望が達せられさうた。所謂「不自然の多數黨」に依つて謀つらしい。然しその小選擧區制は我々に對する奴等の挑戰である。奴等は小選擧區を實行して我等の同志を議會に送らない事に依つて、壓制の實擧り、又×○黨の撲滅、○○主義の絕滅が可能であると考へてゐる。然し事實はそれと正反對である。其事は史實が證明してゐる。議會に我等の同志が一人もゐず、又社會のこうした方面に一人もゐないとしても我等の意志は現存社會の底を深刻に流れるのである。奴等が壓迫を加へれば加へる程、その潛勢力は偉大となる。兩者の對立は益々尖銳化する。奴等は事實、我々の同志に對する心からの追悼の自由をさへ奪つてゐる。山本の前で弔辭を讀む同志が二言三言よつて中止に逢ふ、その度毎に山本の靈は嘆き、我々の心とヒシと合致する、そして益々○○的尖銳化する。

反動政府が深刻となり、壓制が名實共に與つて來るに從つてこうした社會の對立は益々險しくなる言論出版の自由は言ふに及はず、同志の死を悼む言葉の自由さへ拘束され、更に同志の肉親妻子すらその自由なきの今日に至つて我等は何事かを感知する。我等の使命

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の重大を感ずる。この反動政治が社會〇〇の氣運を激成しつゝあることを知つてゐる。反動、彈壓が專らとなり、一切の自由拘束と云う段階に至つた時、社會には一體何が起るか？そこには〇〇〇〇きがある。〇〇が飛ぶ。〇〇が〇〇する。〇〇の氣運はこうして熟するのである。

かゝる意味に於て我々は却て田中反動政府の〇〇を望んでよい——皮肉な事だが。そして同志山本宣治の樣に白色テロの兇刄に倒れるのだ。我々の同志が幾多の死屍を專制政治下に曝し、そして一九二八年の三月十五日の〇〇黨の大衆的逮捕が一變して、〇〇〇〇の大衆的〇〇となる時、そこには何が起るか。我々は寧ろ待ぶ。かかる時にこそ、眞實の××主義者が大飛躍をなす時が來るのだ。

さうだ。社會は進化する、常に量的變化をして進化すると云う進化論者の言は誤つてゐる、量的變化の次の段階に、質的變化のある事を知らねばならぬ。其は社會の飛躍を意味し、〇〇を意味するそして此事を辨へて進む者が最も××化せる××的闘士である。田中反動政府の暴政は斯して社會の飛躍的段階に到達せんとしてゐる。白色テロの兇刄、それに斷乎對立する我々の××、××の閃光、〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、かくして社會は一時「〇〇〇〇、〇〇〇〇」となり、〇〇の氣運漲つて我々プロレタリアートの〇〇が成就し、その結果社會は「〇して勞農大衆の天下となり、それからマルクスの云へる所謂「理想社會」への堅實なる行程を進むのである。

一九二九・三・二一

徹底的抗議を全國に捲起せ

永田繁澄

資本主義社會組織は愈々その爛熟期に到達し、而して日と共に没落の道程を辿りつゝある。

斯うした社會状態にある時、資本家共は一日たりともその餘命を長うせん爲め、新興無產階級解放運動にはあらゆる力の總てを動員して徹底的に暴壓を逞うするのである。

就中田中反動内閣に至つては、その文字の示す如く露骨に、意識的に、計畫的に吾解放運動を甚だしく彈壓するのである。

吾々は斯かる暴政内閣は、一日たりともその存在を許さざるものであり、一路倒閣に邁進す可きである。

此の暴政内閣の暴壓の一ツの現れとして、遂に吾陣營内にある同志山本宣治代議士は刺殺せられた記憶せよ三月五日を！

此の日同志山本氏はその宿舎たる光榮館にあつた、その時、突然訪ねし七生義團々員元輔島巡査黒田保久二の爲に刺殺されたのである。

此の事件は、吾々解放運動從事者のみならず、全世界に非常なる衝動を與へ田中反動内閣に對する怨嗟の聲はヨリ以上に高まり、その成行たりや實に世間注視の的となつたのである。

此の重大事件に關し、法、内相及び此の一味は黒田の刺殺は恰も正當防衛かの如く發表し、その爲めに山本氏と黒田の格闘があつた如く宣傳したのであつた。

而して事實を見るならば、何等格闘せしを物語るものもなく、附近の器物の如きは依然としてその儘にあつたのである。

彼等の云ふ「格闘云々」は何等證據なき言葉であつた。

又、七生義團機關誌の如きは、以前より、無產議員を〇〇す可く計畫し、堂々機關誌に發表したのであつた。

然るに不思議や、斯の如き危險なる機關誌は發賣禁止の處分すら受けず、依然發行を續けて居たものである。

又刺殺當日、尾行を付しなかつた事を考へるならば、合點の行く事もあるのである。

所謂警視廳の話に依れば、議會開會中は如何なる議員と雖も尾行を附し、その身邊を警戒したと、然るに同志山本氏に當日丈け何故尾行を附しなかつたか。彼等は更に山本氏は尾行を斷つたので、付けなかつたと。

死人に口なし！

此の尾行問題も曲解？するならば、暗に〇〇を促さしめるために、故意に付けなかつたと云ふ事も出來るのである。

機關誌と云ひ、尾行と云ひ彼是綜合する時、うなづく事が必ずや出來る事を信ずるのである。

彼等は斯く〇〇しにも飽き足らずその葬列迄にも彈壓を逞うしたのであつた。葬列の途中より檢束者を出すとか、或は追悼に集まる人々には威嚇を加へ、弔電、弔詞の如きは殆ど中止を命じ大阪に於ては追悼會に來つた人は片ッ端よりトラックで檢束する等暴壓も其の極點に達したのであつた。

山本氏の母堂、遺族は葬列の時警官に踏まれ、途中より列を外し母堂は、男勝りの氣質にして、滅多に涙を出す人でなかつたが、此の模狀を見て遂に泣かれたのであつた。

斯くも葬列に迄蹂躙振りを發揮し、その言ひ譯として「山本氏の葬儀に藉口して不穩の計畫云々」とあるが、その所謂不穩の何であつたか、今日迄知る事が出來ないのである。要するに此の不穩云々は彈壓せん爲めの口實であつたに過ぎなかつたのだ。

彼等の暴壓は實に言語に絶するものである。同志山本氏は地下にあつて、サゾ恨まれるであらう。

山本氏の血の一滴たりとも無意義にするな！

吾等は此の尊い犧牲者の一滴の血なりとも無意義にする事は斷じて出來ぬ、更に〱彼等の牙城に肉迫し一擧に〇〇せしめねばならぬ、斯くすることこそ、山本氏の靈を慰め犧牲を有意義ならしめるのである、山本氏の精神も必ずや茲にあつたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾々働く者のみの社會、「働かざれば食ふ可からず」の社會の一日も早く來らん爲に邁進せねばならぬ。

斯くの如き、暴壓、彈壓悲慘事に對し、吾無産議員は如何なる行動を取つたか、此の事を思ふ時餘りに無産議員は沈默を守つた、對岸の火災視した感があるのは實に遺憾千萬である。

七名の吾が議員中、よく此の問題を提げて反動内閣と戰つたものは淺原君外一二名であつた。

然るに斯かる問題を目前に見て居乍らも沈默を守ると云ふが如きは餘りに非階級的な行動であると云はざるを得ないのである。處でその非階級的な行動を取り一口も此の問題を論じなかつた議員が四五人もあるに至つては實に呆れざるを得ない。

此の山本氏の問題は凡ての組合研究團體、或は個人に至る迄、凡そ勞働者である以上一人として口にせないものはなく、その輿論は實に洪水のそれの如くであつた。

然るに此の民衆の輿論が吾々の政治的代表者である議員に何等反映せず、從つて議場に於て一言も發しなかつた如きは已に吾々の政治的代表者に非ずと云つても何ほ憚らざるものである。

斯かる議員共に果して何が出來るのか、吾々の政治的代表者等とは實に片腹痛い次第だ、君等は支配階級に肉迫するのが、これ迄恐ろしいのか、君等は立候補宣言に何と云つた。俗言の『咽喉元過れば暑さ忘るゝ』の式か、それ程迄良心が麻痺したのか、支配階級と机を並べ据はるのがそれ程嬉しいか。

今流行語にダラの語あり、或はダラ幹たるとか。此のダラの二字は改めて君等に獻じやう。ダラ議員の尊稱を奉らう。

兄弟シッカリしろ、吾々の議員の中に此んな者共が居るぞ、

山本氏の死を意義あらしめよ。

山本氏の死を意義あらしめる事は、絢爛たる文章をもつて弔ふ事ではない、カラ騒ぎであつてはならない。

工場に、農村に吾等の同志を組織して行く事だ。われわれの力が強くなつたら何時でも勝つ事が出來るのだ。

打倒田中反動内閣、
帝國主義戰爭の危機と戰へ
治安維持法××法を葬れ、
反動主義者を粉碎しろ
徹底的抗議を全國に起せ、

四、三、二〇夜

全農の山本氏暗殺に關する指令

（一）われ等の唯一の戰鬪的代議士山本宣治君は去る三月五日午後十時頃東京神田光榮館に於いて、突如反動ゴロツキ團七生義團黑田保久二のため短刀を以て暗殺された。この日、勞働者農民に對する死刑法治安維持法承諾案が衆議院本會議に於て上程され、實にわが全國農民組合第二回全國大會はわが山宣が殺されるより六時間前彼に對して「惡法治維法に對し[illegible]をもつて反對せられよ」と打電したのであつた。わが山本代議士は勞農大衆を代表して決死的に反對して戰つたのだ。わが山宣は全農大會の第二日日（三月四日）に勞農同盟の代表として大會に對する祝辭を述べて吳れたが、その中で「共に手をさつて來た水谷代議士が勞農同盟から分裂して唯一人の代議士として議會で戰はねばならなくなつたが山宣はさびしくはない。それは全國幾千万の勞農大衆が控へてゐるからだ。わたしは勞農大衆を信ずるからです。卑怯者去らば去れわれわれ[illegible]は××を守るのであります」と。この言葉通りに身を以て吾等勞農大衆の利益のために戰つて、反動の魔手に仆れたのだ。

（二）帝國主義××の危機に面して、勞働者農民は斷乎として、資本家地主の政府反動田中内閣の暴壓と戰ひ、地主資本家の搾取に對して戰ふ勞農大衆の解放運動の尖鋭にオビえた支配階級は、われ／＼勞働者の戰鬪的鬪士を幾多となく奪ひ、今また、われらの代議士山宣もまた彼等のため暗殺された。これこそわが山宣が勞農大衆の支持の下に勞農大衆を信賴して勇敢に議會に於いて吾々の利益のために戰つたが故に殺されたのである。

（三）吾が全國農民組合は、この亂れ狂ふ支配階級の白色テロルのために仆れた山宣の死を悼むと共に、この白色テロルの前にひるむものではない「鬪爭を以て山宣を生かせ！」そのために地主資本家とその××に對する鬪爭を、斷乎としてオシ進めなければならない。

中央常任委員會は、われ等の代議士山本宣治暗殺に關し、各聯合會に於いて、當面なすべき事につき次の如く指令す。

（一）各聯合會は各種の集會及抗議文撒布を以て反動政府に對して活潑に抗議運動をなすこと

（二）京都における山宣の本葬の當日は、全市一齊に勞働者農民葬を行ふこと

（三）以上及その他につき各聯合會は、地方勞働組合その他無産團體と協力して行ふこと

（四）山宣の暗殺、葬儀はまた反動政府の惡政一切に對して、勞働組合、その他の團體と協力して抗議し、反抗して戰ふように組合員に宣傳××すること

聲明書

わが無産農民唯一の戰鬪的代議士山本宣治氏は反動的支配階級の毒刃に仆れた。これは迫り來る帝國主義戰爭の危機を前にして高まりゆく勞働者農民の階級的勢力に畏怖した反動資本家地主階級の恐怖政治なのだ。

だが斯る暴擧は我等勞働者農民の階級的強力を憤激によつて強大化こそすれ斷じて挫折するものにあらず。

記憶せよ！三月五日を。この日は死刑法、治安維持法がブルヂョア議會を通過した日だ。「山宣」の赤き鮮血を我等は無意義に終らしめてはならぬ。

同志よわれ等が山本宣治氏の屍を乘越えて進め。

昭和四年三月六日

全國農民組合第一回中央委員會

大阪無産協議會聲明

全勞働者農民 戰鬪的同志山本宣治代議士は、五日東京に於て資本家地主の毒刃に仆れた。

迫り來る帝國主義××を前にして支配階級は飽くなき××××を勞農大衆の上に加へ昨年三月には勞働者農民の指導者五百餘名を吾等の戰列より奪ひ勞働者農民の戰鬪組織を××を以つて破壞し第五十六議會には勞働者農民の死刑法治安維持法を制定する等、恐怖政治に依つて勞働大衆を彈壓しつゝある。

七生義團員に依る山本宣治代議士の暗殺は資本家地主の恐怖政治の最も露骨且つ慘虐なる現れである。

吾等は斯る資本家地主並にその代辯者田中反動内閣の暴虐極る白色恐怖手段に依る政治に對しては全勞農大衆の大衆的行動に依つて之に對抗し勞働者農民に敵對する反動團體に對しては斷々乎として戰ふ事を誓ひ、全勞農大衆のために流された山本代議士の血を無意義に終らしめないために一致協力して邁進することを茲に聲明する

三月十一日

山本宣治勞農葬
全大阪無産團體協議會

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五十六議會の反動性

佐々木敬三

去年の秋から暮へかけて醜惡な議員取引に成功した田中反動內閣は、最早新黨俱樂部の主人床次の支援なくとも第五十六議會切拔けの方策は立つた。床次は政權の盥廻しを夢みて三十に足らぬ家の子郎黨を引連れ、結局は政友會に合流し惡法小選擧區制案の提出者となり、議案說明者となつた。床次新黨樹立が、既に日本ブルヂョアジーの支那侵略を是認肯定支持せんが爲めなのだ。反動政府のお味方議員政友會と、反動外交支持の新黨とにより過半數を占められた議會は、何等の說明を要せずして其の正體明かである。また民政黨にしても、直接日本ブルヂョアジーの御用を仰せつからぬ野黨の今を悲しんでゐるに過ぎない。內閣打倒なぞゝほざいて見た所が、單にブルヂョアジーのために踊るより忠實なる踊手たらんと志願してゐる事を自ら暴露してゐる。金融資本——あらゆる產業資本の統制者支配者として王座に君臨する金融資本の要求である金解禁のために大敵となつて代議しつゝけて居るではないか。

かゝる一味によつて何が爲されたか。第一尨大なる軍事豫算及び山東出兵駐兵費の承認である。今や支那を中心に帝國主義戰爭の暗雲が一層濃く湧き起つてゐる支那をめぐる帝國主義諸國家間には過去に於けるワシントン會議不戰條約新な軍縮會議等の協議によつて此等の危機を防止しようとする試みが屢々行はれ、安價なプチ・プル連の人道主義はこれに滿足してゐるが、却て戰爭の危險は一層深刻化して行く。日本ブルヂョアジーにとつては莫大なる出費ながら是非とも此の尨大な軍費——國費の三分の一以上に及ぶ——が必要なのだ。この軍事豫算に承諾しないのは無產黨議員だけであつた。山東出兵駐兵費は支那侵略の尖端的行動の入費で、日本ブルヂョアヂーの死活問題としての支那侵略を認めざるを得ない彼等は、これを鵜呑みにした。この臨時支出に承諾しないのは無產黨議員だけであつた。

第二に小選擧區制案だ。衆議院でこの爲め大亂鬪劇の最中たゞ可決後貴族院に廻付するも時日がないから審議未了となり法律案として成立しないだらう。併し彼等の意圖は此處にも亦明瞭である。八名の無產黨議員當選と同時に、少數ながらもその大膽な言說と闘爭とに恐怖した反動內閣は床次入閣豫想の秋波を送つて政友新黨をして小選擧區制案を提出せしめ、無產黨議員の絕滅を期した。彼等は、干涉買收利權等によつて大衆をその政治的利害に對して無關心ならしめ、ほしいまゝになる搾取に餡かんとするのだ。選擧が、ブルヂョア・デモクラシーの表現であると解釋されてゐる今、その最も良き表現方法たる比例代表選出制度が既に各國に行はれて試驗濟みの今日、多數の投票をして何等の意志表示の機會と方法とを與へずして死票たらしむる小選擧區制案の提案者達は、比例代表選出制度は空想であると嘯いてゐる。彼等にとつては案の矛盾や不備は一向に問題にならぬ。日本ブルヂョアジーは武斷的反動的政治によつてのみその命脈を維持し得る。從つて來る議會選擧に於て、自己の反動支配のために粉骨碎身する反動代議士團を優勢ならしめねばならぬ。それには議員歲費倍額値上案も議員といふ番犬にうまい肉を與へて一層忠實に反動的役割を務めさせねばならぬ。第一に主要なことは大中地主等の封建的要素と抱合密着しなければならぬ。選擧區の設定方法は一切これから割出されてゐる。プロレタリヤ、貧農の代表者には門戶を閉鎖するがよい。我等は閉ぢた門扉を叩き破つて、議事堂を我等の新しき社會の建設を議定する處所とするであらう。

第三に地租移讓法である。

この法案は、小選擧區制案と共に貴族院で審議未了となるだらう。この案を政府では減稅になると稱し、從つて社會政策である由。五十五議會に肥料分配で有名になつた田中大將の政府知識の貧弱さは遂に社會政策の意味さへ了解しない事を暴露した。實に笑止千萬だ。反動內閣の首班は內政——即ち國民生活に對する施設の何たるかを解せずとも、支那あたりでサーベルを振ることさへ知つて居ればよいのだ。そして內務大臣は一切を次官に任せ、人情大臣と稱し待合に出入して酒席で政治を人情的にごまかせばそれでよいのだ。

地方自治體への地租移讓はよし一時的に減稅といふ結果を見ても、土地價格の低落的傾向と自治體財政の膨脹の趨勢から云つて、數年後には大增稅となるは明かである。かくて、中農は小農へ、小農は貧農への道行を一層早めるだらう。自作農設定案も同時に提出されてゐるが土地饑餓のためはつきりと自己の階級的立場を認識せんとする農民の自然發生的運動や、農民組合運動を恐れ、あくまで農村を封建的遺制の下に縛りつけ、金融資本の反動支配に便ならしめんとして、農民の土地慾を滿足せしむるが如き外觀を呈するまやかし法案だ。三十年も血みどろになつて、地主共には不用になつた僅少な土地を購ふため。高い元利を拂ふ必要が何處にある。農民諸君

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の武器の使ひ樣では、土地××の成功は眼前にあるではないか。

第四に、改惡治安維持法の事後承諾だ、如何に原法相が、「死刑」法案を以てしても、資本主義の發展と共に増大し、現に最後の段階たる帝國主義に到達した資本主義は、やがて自己の揚棄を運命づけられてゐる。我等を死刑を以て脅かしても必然的に×××××の日が約束されてゐるのだ。併し議會はこの暴法を承認した。民政黨では緊急勅令で發布した形式の是非を云爲した、たが内容には一片の抗議たも爲さぬ。同じ穴の狢さ。かゝる白色テロの公然たる挑戰を見よ。議會會期中に代議士山本宣治氏を凶漢の×××××我等から奪ひ去つた。そして一切の無產運動を×××の彼方に押しやらうとしてゐる。淺原代議士が、京都に於ける山本氏の葬列に加へた警官の暴狀を議會で詰問した際「山本の殺されたのは××た」とか、「たゝき×すぞ」とか怒號してゐる。治安維持法の改惡は、白色テロリズムの組織的進擊なることを示せよ。そして次の選擧には更に多數の無產代議員を議會に送つて、ブルヂョア議會の反動性を曝露しブルヂョア議會消滅の日を早からしめよ。

全國農民組合第二回全國大會宣言

一

我が全國農民組合は昨年五月六七日支配階級の未曾有の暴壓の只中に、戰闘的勞働者農民大衆の白熱的支持の下に未組織農民大衆の歡呼のうちに迎へられて生誕した（二行九字抹殺）香川縣、愛媛縣に於ける我組合員に對する強制脫退となり、全國各地を襲へる組合ブッツブシの嵐となり、この機に乘ずる地主資本家の猛烈なる攻擊となつて、我等が言論、集會、結社、團結の自由は全く奪はれ、更に金融恐慌以來益々加重せる貪慾あくなき地主資本家のあらゆる形態を以てする搾取は我等農民の生活をいよいよ窮乏のどん底につき落すに至つた。

かくの如き狀勢の下に於て、舊日本農民組合、舊全日本農民組合の合同は、それ自身、彼の支配階級の暴壓に對する強力なる抗議と闘爭であり、（十二字消）生活擁護の雄叫びではなかつたか？否、更に全國的農民戰線統一の第一步であり、鞏固なる勞働者農民の戰闘的結合の要求であつたのである。

二

然しながら、我全國農民組合創立以來十ケ月の闘爭に於て、あらゆる闘爭と努力にも拘らず、充分その効果を實現したと云ひ難い。

其後、支配階級の彈壓は益々兇暴を極め、闘爭の彈壓、治安維持法の改惡、思想警察網、思想檢事の設置（以下五十字抹殺）日夜升弄してゐる。（四十字消）小作爭議は容赦なく抑壓されたるのみか、之に乘じ之と結託する大地主、土地會社の立毛差押へ、立入禁止の猛襲が我等の頭上に見舞はれたのである。更に彼等の懷柔と欺瞞と買收による分裂政策は益々組織的陰險巧妙を極め協調主義改良主義者を驅つて協調組合階級的裏切亦はサボタージュを爲さしめ、爭議を賣らしめ大衆行動を阻止せしめ而して我等の戰線を攪亂破壞せしめんとしてゐる。かくて吾等は香川縣聯合會を奪還し得ず、地方聯合會の合同を完成する能はず、充分なる未組織地開拓に成功を收め得ず、更に全國的農民統一戰線の確立を實現し得なかつたとは云へ我等は過去十ケ月の苦難なる闘爭に於て、彼の支配階級の限りなき暴壓と改良主義者裏切幹部とに對する、より一層執拗果敢容赦なき闘爭の必要を痛感したものである

三

今や資本主義の矛盾にその極度に達して、（以下三十四字消）

一昨年の金融恐慌の犠牲として勞働者農民は九億の巨大なる負擔を負はされ、延いては産業の合理化の名に依る大衆馘首、賃銀値下げ等あり、又其結果は農村に層一層の貧窮をもたらした。殊に土地を有せずして働く農民は地主の封建的搾取に加ふるに、過重なる公課、公租、高利、肥料代等に惱まされてゐる、更に昨年の不作は益々困窮のどん底に突き落してゐる。かくて農民の闘爭は我國の行詰れる過小農的、封建的農業關係と相俟つて益々激化し、僅かな小作料減免運動さへ直ちに訴訟となり、立毛差押となり、立入禁止となり農民は否應なく耕作權確立の爲めの闘爭に驅り立てられると共に縣稅撤廢、電燈料値下、（八字消）官僚政治反對の運動の爲めに全農民皆を動員するより廣汎なる闘爭に參加せざるを得ざる情勢にあり、亦行ひつゝある。而して階級對立の尖銳化に伴ふ比類なき暴壓は異常にその闘爭を深刻化してしばしば各地流血の慘を見るに至つた

見よ！近時勃發せる岐阜縣黒川騷擾事件の如き、山梨縣の小作騷擾事件の如き續々たる各地の農民暴動を！これこそ、土地問題を中心として已む能はざる農民の憤激と言語に絶えざる支配階級の暴壓を最雄辯に物語るものである

四

（十八字抹消）第五十六議會は十七億四千萬圓の軍事豫算を滿了した。更に田中反動内閣は自作農創定維持、地租移讓等々の政策を以て農民を欺瞞せんとしてゐる。

團結權獲得のため、耕作權確立のため、無產農民大衆の徹底的解放のため「農民に土地と自由を與へよ」のスローガンの下に結集され今や農民大衆の素晴らしき闘爭は展開されんとしてゐる昨年七月以來中部農民組合外六團體を包含する全國農民團體協議會は成立して全國的農民戰線統一の機は熟してゐる。比類なき暴壓をはねかへして土地問題の解決のため、全無產農民大衆の先頭に立つて闘爭すべき我が全國農民組合の使命は重大且多端である。

かくて我が光輝ある全國農民組合第二回全國大會は亦重大なる時期に於ける使命を遂行するため、日常闘爭に、政治的自由獲得に、未組織地方の開拓に、青年部婦人部の組織に、帝國主義戰爭反對に更に全國的農民戰線統一のために常に戰闘的都市プロレタリアートと強力なる腕を組み新しく採用されたる綱領、主張運動方針の下に執拗果敢なる闘爭を續けん事を宣言するものである。

農民に土地と自由を與へよ小作料を徹底的に負けろ！

言論集會結社、出版の自由！團結權の獲得

治安維持法、惡法撤廢！

農民階級戰線統一萬歲！

戰闘的勞働者、農民の結合萬歲！

全國農民組合第二回全國大會萬歲！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五十六議會を通じて見た田中内閣の運命

淺原健三

倒れないとは考へられないが不死身の田中、何とかして立ち直らないとも限らない。議會後の對支外交の進退兩難から倒れるかもしれぬ。紡績業者もさう永く辛抱しまい。

倒れるとしても、貴族院や樞密院の打擊で倒れるのでは、癪に觸る。何とかして、我々の手で致命傷を與へたいと思ふが、それが出來ぬのは癪である。が、倒れたところが、我々には何のことでもない。田中に代る者も同じ反動内閣。誰を相手にしても結局同じですから田中内閣の倒否に大した興味も持てない。

帽鉾道夫

小選擧區に逆轉せしめつゝあることが、既に崩壞過程の第一步たらう。と同時に、それは日本資本主義の沒落も意味するだらう。十七億五千餘萬圓と云ふ躍進的（？）豫算の尨大さは何を物語るか。それは國内生產力の增進とそれに伴ふ海外市場の飢渴、かくてその政治の誤謬を暴露するに餘りあるだらう。米國資本主義は、この田中低腦内閣の（それは必然的であるが）財政に、疑惑を持つて、その不信用を遺憾なく露骨的に反映せしめてゐることである。此等は殆んど財界を死滅せしめんとするものであろう。金融資本主義の然も此等の政策が殆んど利益獲得と勞務擴張の道具であるに至つては、如何に貴族院と雖も「そりや聞こえません、義一つあん」と言つたかどうか、總豫算の貴族院通過は、議院法の改正に依つて豫算審査に期間を附した結果であつて、また豫算關係の重要法律案は兩院に山積して居る事實は何を物語るだろう。殊に兩税委讓案が貴院に於いて審議未了か握り潰しになれば、「現内閣財政政策不信任」で殆ど田中反動内閣の決定的運命だろう。まづ、田中亂暴内閣は自分が御奉公をした、金融資本家に死刑の宣告をされるのは議會閉會前後であろう。

問題提出の理由

田中反動内閣は所謂立憲政治の立場からして危機に瀕してゐると傳へられてゐる。野黨たる民政黨や初め貴族院の殿様達の田中反動内閣への攻擊の理由は、われわれ無產階級の立場からすれば全然反對な、即ち資本家地主のよりよき××たらんとする立場に立つてゐるのであるけれども、政界の波動は決して無產階級の關心の外にあつてはならない。敵の陣營をよく凝視し、よく認識するものこそ最もよく戰ふものである。殊に、田中反動内閣打倒の急務なる時、この問題を提出するのも無駄ではあるまい。打倒反動内閣の叫びは、又、進んで一切の資本家地主の政府反對、×××××の政府の樹立は決して單なるカラ騷ぎであつてはならないからだ。

進め社編輯部

前川正一

田中反動内閣は成立當初からではあるが、五十六議會に於いて最も明確に「人民の敵」であることを實證した。惡法治安維持法の改正案を衆議院において承認せしめ、小選擧區制を持出したり等、今や民心は田中反動内閣から離れ、寧ろ勞働者農民無產市民を先頭として人民の敵田中反動内閣打倒が強い叫びとなつた。彼等の運命はつきてゐる。そのつきた運命を無理から頑強る彼等を打倒することこそわれ等の任務である。これは民政黨内閣が現れても同じではあるが——

古市春彦

のたれ死ぬべきでありますから のたれ死ぬでありませう。かう行き詰つては、起る回生の妙藥もないと思ひますが、田中といふ人はケタの外れた人ですからゼイ〳〵云ひながらも坂道を登つてゆくかもしれません。頸にはナワをつけて引張り、お尻を押してでも、とにかく登つて行かせないと政友會といふ屋臺が轉覆し、四分五裂するから、頑張れるだけは頑張らせませう。所謂滿身創痍も除々に受けた傷ですから、癒るかもしれませぬ。が餘病併發の危險があるからとてもためでせう。その餘病が併發させぬほどの國手は今のところ政友會には見當りません。若し起死回生したら、僕等には見當のつかぬ理外の理があるといふことになるわけです。

根本宗光

田中内閣の運命の蓋然性並びに可能性に從つて列擧すれば左の如き筋道を辿るのが常道ではないかと思ふ。これは最も常道で日本の政界は世界稀なる調子はづれだから又ドンナとてつもない事をやり出すかは保證出來ぬ。

イ　兩税委讓が否決されば總辭職（解散の度胸は有るまい）

ロ　右握潰しの場合は内閣改造か新黨クラブとの寄合世帶か？

ハ　馬鹿に出來ぬのは樞府に於ける不戰條約の運命！、これが或は内閣の運命になるか判らぬ。

ニ　政府提出の重要案盡く握潰しの場合、いくら不死身でも血達磨では「起上りこぼし」の藝當も出來まい自殺か！

右の中イが一番、蓋然可能兩性の所有者だ。その結果はどつちも心中だらふ。[illegible]、兎に角何んでもいゝ一時も早くクタバツテ了へ。

前田河廣一郎

一落千丈的崩壞へ急ぎつゝあるブルジョア政治の惰力的滑力に過ぎない。

布施辰治

今度の第五十六議會を通じて曝け出された田中反動内閣の正體は箸にも棒にもかからない政黨の實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

片鱗

りつき以外に何ものもないやうです。だから、あの調子だと、自ら引くなどと云ふやうなことはなく倒されるまで續くでせう。而して、その倒され方は、無形の彈劾では駄目で、やはり、有形の彈劾を受けたとき、と云ふことになるのではないでせうか！

熊谷宏明

貴族院の連中が如何に偉さうな事を云つたつて同じ穴の狐だ、地租委讓や選擧區制案も否決はせずに握りつぶし位な所だらう。さうすればどうせ反動とノホホンの親玉だもの二三の首のスゲ更へ位でおらがの内閣も次期議會まではどうやら安泰（？）と云ふ所だらう

重松清美

先づ次の總選擧までは押し通すでせう、×××でも出たらその限りではないがさうでなかつたら田中反動内閣の運命は資本家地主の勢力がある間は先づ安全でせう、しかし次の選擧では民政黨が政權を握るかも知れね、だが小選擧區制によつたらそれも不明です、

何れにしても田中内閣の運命は資本家地主の運命と殆んど同じであると云つてもよいだらう

靑木潮

田中軍事内閣成立以來全日本の被壓迫大衆は日々にその生活の權利を剝奪され××、×××等諸植民地民族は×××に近き壓迫を受けつゝある。その反面に於て彼等地主資本家の廻し者田中軍閥内閣もその内部的諸矛盾のため壞滅期に到來してゐる。而して彼等は今や最後の斷末魔的死力を盡して居る。之は彼等の行くべき必然の運命であらう。

水野晴佳

第五十六議會に於て、治維法以外何もしない田中反動内閣の運命はもう定つて居ると云つてよい。山本代議士刺殺事件の如きは彼等の斷末魔の叫びとも云ふ可きであらう、市會選擧に於ける政友會の敗北も明かに田中反動内閣の運命を物語つてゐる。然し田中反動内閣が倒れても、又後から、何々反動内閣は出現する、無産大衆の團結がなくして反動政府は克服出來ない。民衆政治は確立出來ない。

鄭然圭

我々の問題は、田中反動内閣の運命を如何にせば一日なりとも早く縮ますべきかゞ問題である。そして植民地人の一人としての我等は、本國におけるこの反動内閣に對して、如何にせば我々の欲する本國の破壞作用を速かになし遂ぐべきかゞ問題である。

西卓吉

意識的に反動化せる資本家、地主の最も忠實なる番頭としての田中反動内閣は昭和以來、世界資本主義の一環日本資本主義の意志の政治舞臺への露骨なる反映者として、全プロレタリアートの頭上に君臨し來つた。即ち見よ！×××の檢擧と、左翼三團體に對する×××的彈壓以來支配階級のプロレタリアートに對する全線的攻勢は其極に達し、議會に於ては治安維持法の改惡案の決案を持つて、全國の勞働者、農民の息の根を止めんと意圖した。此反動政府に對して、全土の無産階級は起つて嵐の如き反抗をなげつけた。治安維持法緊急勅令反對、對支干涉反對、香川爭議等を通じて、田中反動内閣打倒の血を持つて叫ばれた聲に、おそれた反動政府は、この聲をはふみにぢり重大なる五十六議會をたくみに拔け切らうと畫策中。あたかもよし多年無産階級を贄物にして生きた平野力三、以下の札つきダラ幹は、此彈壓政治に呼應し遂に、無産黨代議士の政府合流全土大衆の多大なる要求として結成せしめられた大衆的共同闘爭黨「日本大衆黨」の解黨等を條件として思想善導費をは承認するに至つた。そして政府はこれによつて大衆の聲をはかきむしり、生命をは保たんとはかつた。

けれどもこの憎くみても餘りある一派は、大衆の知る處となり、白日の下に曝され俄然無産黨運動は、全土勞働者、農民の中に旋風の如く卷き起り憤激した大衆は火の如き打倒田中反動内閣と、賣黨裏切幹部排擊とを結びつけて起つた數限りない五十六議會中に於ける田中政府の若々然に對する闘ひの手に對して、この全プロレタリアートの憤激の聲は、この議會を最後として、田中反動政府の運命をは終らせるであらう。否そうあらしめねばならない！

杉山元治郎

厚顏無恥の橫車押しはたんく自分の墓穴を深く掘つてゐるものです、あれまでも未練がましく噛り付きたいでしやうかね、少しは彈劾の手前男らしく潔ぎよくしたらば良いが、今の醜態では人心もあきれます、政友會内閣に民心はとうに放れてゐます、だから瓦解も餘り遠くありますまい、一日も早く潰れて欲しいものです。

佐藤讓郎

豫算案だけが漸く通過しただけで、他の重要議案はことごとく貴族院の手許に握られつ放しといふ現狀で、政府としても全く心細い次第である。併し、この狀態に對して毫も恐るゝ氣配もみせずに、或は脅かし、或は慫慂して、貴族院をものしやうとする努力こそはまことに我が田中反動内閣ならではなし得ざる怪力である。これに依れば、新黨倶樂部との完全な提携に依つて、政權かじりつき主義に出るとか。なかく味な秘策をまでめぐらして政權を放しまいと懸命である。無論この第五十六議會に於ては、何等かの秘策を以て田中内閣の生命は維持するものであらう。が、問題は、議會に投影せられたる田中反動内閣の運命の決定ではなくして、日本無産階級の立場より見たる田中反動内閣の運命の問題でなければならぬ。議場に於ける驅引を唯一の生命とする議會に於ては、我が無産階級の代表たる七名の代議士すら、何等の無産階級的行動をなし得ず空しく彼等老巧なる策士連中に封鎖せられ、彼等の意の儘に日本國民、否日本無産階級の意志としての醜態を餘儀なくせしめられてゐるではないか、しかも、その内容はことごとく無産階級を壓迫し、より搾取せんとするもののみである。この第五十六議會の狀態に於て、なほも合法主義的政黨者諸君が、議會をのみ通して無産階級の解放を遂げんと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

努力するのみであるならば、その勇敢なる愚鈍にあきれざるを得ぬ私は、提出せられたこの問題に對して、單なる無産階級的公憤から田中反動内閣の運命は決せり、等と言ひ度くはない。そして、田中内閣の存命の意義は、社會進化の歷史的條件に對する反動的所以にある。隨つて、從來のブルジョア政權の廻轉的狀態と軌を同じう視するわけには行かぬ。我々無産階級が、歷史的進化の正しき軌道に押し戻すと、否とは、偏に我々の正しき階級的行動あるばかりである。少し問題の中心を外れた嫌はあるが、あえて我が無産階級の立場を明かにするため故、惡しからず。(三月十八日)

亀井貫一郎

田中反動内閣は恐らく安定をするでありませう。しばらくは、何故となれば立憲政治に於ける責任に對して無感覺である事を第五十六議會に於て明瞭に表明したからである。彼等は恐らく力でなければ倒れまい。

吉田源藏

問題に對して私はかく考へた。

一、田中反動内閣は、麻生、平野の反動ダラ幹をあやつつて、無産黨議員を手玉に取らうとしたが清黨運動が起つたので遂に失敗に終つた。

二、無産黨議員を胡魔化すことが不成功に終つたので、今度は治法を改正して、××ぞ!と脅かして見たが、鯨に蠅が止まつた程にも感じないので無産黨は金や××ではこたへないので、愈々×××をやらねば駄目だとなつて、××××××××××××××××××

三、×××××××××・無産階級がよりよく生きることゝなつた

無産青年政治教育の任務

(全國勞農青年同盟教育部方針書)

一、無産青年政治教育の任務は資本制度(その最後の段階として帝國主義の)に於ける無産青年獨自の階級的立場を自覺せしめその獨自の闘爭に必要なる理論と戰術を練磨しそれを行動に生かすことだ。

一、無産青年獨自の立場とは何か

1 資本主義生産方法がいよいよ青少年の勞働從事を必要とし(成人の勞働を青少年の勞働に置きかへる)それに依る搾取の全體的增大 安い青少年の賃銀はまた成人勞働者の賃銀を引き下げる)を遂行しつつある

2 太平洋を中心とする世界帝國主義戰爭の危機(日英米の建艦競爭を見よ!帝國主義××の支那に對する事實上の戰爭開始を見よ)が切迫しつゝある軍國主義××のこの第二の世界戰爭に對する役割は、第一世界戰爭の獨逸にも比すべきものがある

故に軍國主義××は戰爭の準備のために無産青年に強行する凡ての軍國主義的××(青年訓練所、官制青年團、學生軍事教育軍事豫算等)は來るべき世界戰爭に對する無産青年の×の役割を彷彿せしめる

3 支配階級と被支配階級の對立尖銳、そこには被支配階級の政治的自由はない、特に支配階級は彼等の敵の最も闘爭的エネルギー、無産青年に對しては斷乎として、一毛の政治的自由すら拒否してゐる、選擧權、被選擧權の完全なる剝奪、言論、集會、結社、出版の自由の剝奪(こゝでは成人と青年とは千里のへだたりがある)は無産青年の政治的自覺を壓殺して居る

三、以上の三項を貫いて何があるか、正しく無産青年獨自の階級的立場(獨自の立場)が展開されてゐる。支配階級が自己の存在を恒久化さんがために行ふ、あらゆる資本家的努力の中に無産青年に打ち下す搾取、×の要求政治的自由剝奪の魔手、その下に生起する無産青年の特異なる階級的立場、これを無産青年獨自の立場と云ふのだ

そして此の立場を起點とする凡ての階級的無産青年の闘爭(政治的經濟的、社會的)をその獨自の闘爭と云ふのだ

四、だが感違ひしてはいけない。獨自の闘爭だから、無産青年のみで單獨でやるのだと云ふのではない。如何なる獨自の闘爭も凡て統一戰線共同闘爭に依つて遂行されねばならない。力の集中のみが統一戰線、共同闘爭の強化をもたらす。例へば政治闘爭(我等の獨自の闘爭も)は黨と共同して闘爭出來るし、黨闘爭に參加して我等獨自の闘爭を強めることも出來る。

更にまた我等は特に反軍、反戰の闘爭を強力に遂行せねばならない、この闘爭は無産青年の絕對的統一戰線に形成さるべきだ。

五、そして我等の主要なる獨自の闘爭は次の三大闘爭とする

1 反軍國主義の闘爭——

イ、帝國主義的軍事豫算反對

ロ、青年訓練所、官制青年團、處女會の自主化

ハ、學生の軍事教育其他一切の軍國主義政策反對

ニ、兵卒の言論、集會、結社、出版の自由及選擧權、被選擧權の獲得

ホ、兵營内に於ける兵卒人格權の確認

ヘ、兵卒の給料を標準生活費支給

ト、除隊後の職業保證

チ、一年志願兵制の廢止及一年兵役制の實施

リ、戰死傷病兵及徵兵による家族の窮乏に對する國庫扶養の徹底的實施。そして之を集中せるスローガンは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝國主義戰爭の危機と戰へ！
青年訓練所官制青年團を青年の手に

2 經濟的要求—その諸鬪爭—
イ、青少年勞働者六時間勞働制の確立
ロ、婦人及滿十六歲以下の少年の夜間勞働、坑内作業、有害危險作業の禁止
ハ、同一勞働に對する年齡による賃銀並に解雇手當の差別撤廢
ニ、一年四週間の休暇及休暇中の日給全額支給
ホ、徒弟年期奉公の撤廢
ヘ、強制的寄宿舍制度の撤廢
そして之を集中せるスローガンは
同一勞働賃銀を支給せよ！青少年勞働者保護法を制定せよ！

3 政治的自由獲得—その諸鬪爭—
イ、滿十八歲以上の男女の選擧權被選擧權の獲得
ロ、言論、集會、結社、出版の自由獲得
ハ、治安維持法の撤廢、其他無産階級抑壓諸法令の撤廢
ニ、植民地青年男女に對する政治的、社會的差別の撤廢
そして此を集中せるスローガンは
青年男女に政治的自由を與へよ

六、以上軍國主義勞働青年の經濟的要求、政治的自由獲得の鬪爭を以て無産青年獨自の三大鬪爭とする。勿論此の外に教育制度改革の鬪爭、社會的諸要求の鬪爭と共に戰はねばならぬがそれは三大鬪爭に從屬すべきだ。

七、三大鬪爭並にそれに從屬する無産青年獨自の鬪爭の全體に平行し、結び附いて重要なる日常の生活は政治教育任務である。政治教育は鬪爭の分野の全行動に於ける基礎とならねばならずそれ故鬪爭と不可分の密接さを以て進まねばならぬ。其を要約するとこうなる

1 無産青年に獨自の立場を自覺せしむべき政治的基礎教育
2 無産青年獨自の鬪爭を正しく遂行せしむるための理論と戰術の教育

若し我等の政治的基礎教育が熱心に行はれないならば無産青年の階級的立場の獨自性を充分に展開し得ないであらう。また理論と戰術に對する研究がサボタージュされるなら、鬪爭は固定化するか、甚だ正しくない方へ走り行くであらう

二、教育方針

八、資本主義的合理化と、帝國主義戰爭の危機の增大とは生産過程に於ける青年の占める位置（獨自の立場）を益々重大ならしめつゝある。我等はすでに前項政治教育の任務に於て反軍國主義、政治的自由獲得、勞働青年の經濟的要求を無産青年獨自の三大鬪爭となし其他の鬪爭をこれに從屬せしめたそして各個の鬪爭に關連して教育的任務の重要性を强調した

そこで我々はいよ〳〵教育方針を立てなければならない

九、我等の政治教育はどこに其基定を求めるか。云ふ迄もなくマルクス主義レーニン主義にである。

こゝで一瞥する必要があるそれは我等の創立大會が決定した「鬪爭方針書」に就いてだ、不幸にも我等の「鬪爭方針書」には次の如く非レーニン主義的文句がある。

四、鬪爭の基準（一）鬪爭の方針……として……）
（一）大衆的ならざる理由、大衆青年同盟とは何を意味するか
イ、は勞農青年の指導の下に中間層の青年をも動員することであり ロ、は前衞的青年同盟との區別を意味する、と……これは正しい方針か、斷じて正しくない、少なくとも非レーニン主義的方針である。第一に勞農青年の指導の下にとは何だ。勞と農とを同一の指導要素と誤解せしむるが如き書き方は先づ正しくない、無産青年の組織に於て指導の要素は勞働青年である（プロレタリアヘゲモニー）

農は同盟の形態に於てその指導下に結合さるべき第一次的要素である。そして中間層の青年などこの結合した（勞と農）勢力下組織下に織込まれるのではないのか、一言にして云へば勞の指導—勞農の同盟—中間層への勢力の伸長、と云ふことにならないか

第二に前衞的と大衆的との區別、此は一體どうしたわけだ。まるで社會民主々義の左翼陣營に對するスローガンではないか、前衞的青年同盟とは××青年同盟のことか、それならば呼名そのものが不當ではないか、かゝる方針は第二世界戰爭の中心となるべき軍國主義戰爭に、そしてその戰爭の急迫を前にして社會民主々義青年同盟と××青年同盟とに二分せる戰線（へ）を形成しやしないか。そしてかゝる責任は誰が負ふか。この際（そして今の内だ）我等は重大にして根本的な問題を正すべき義務を持つ

1 前衞的、大衆的の區別線の撤廢
前衞的なものこそ大衆化せねばならない。大衆的なものは戰鬪化（鬪爭方針書で云ふ前衞的への完全な結合）されねばならない。

2 前衞的なものゝ大衆化、大衆的なものゝ戰鬪化、この區別線の排除強力なる統一戰線から結合へ、即ち大衆的前衞的な無産青年の組織のみがその獨自の立場を發揮し、獨自の鬪爭を展開し、課せられたる偉大な階級的役割へ進む

我等の現在の組織が大衆的前衞的となるには社會民主々義との鬪爭（レーニン主義的に）をも含む共同鬪爭統一戰線の强力なる行動によるべきだ、我等の教育方針もまたこの根本に打ち立てらるべきである。

十、我等は始終他の指導統制の關係を緊にして居る、日本大衆黨だとか勞農黨だとか。そしてそれらの關係から理論や方針を求め勝ちである。我等の決定した綱領宣言、鬪爭方針書（創立大會）はみなこの惱みを自狀して居る、恰かも全國勞農青年同盟は指導的、組織的獨立性がないかの如く、（こゝで日本大衆黨と全國勞農青年同盟の關係か××××と××××青年同盟の關係に比べるのは愚かだ）だが我等の鬪爭の原則はすでにレーニン主義に近いたではないか、我等は最早不斷の鬪爭を以て此の惱みを投げ捨てつゝレーニン主義の旗の下に組織と方針の獨立性へと押し進むのだ（少なくとも現在の組織的地點からは）

十一、以上我等は我等の鬪爭方針を訂正した從つて我等の政治教育の方針はそれに準じて資本主義の解剖を以て改良か、革命かの根本問題を決定しなければならない、先づ我等は改良主義（社會民主々義）を否定して斷乎としてそれと鬪爭すべきことをレーニン主義から學びとる。

そこで我等の教程は當面の現實的鬪爭と結び着いて進む

第五十六議會の資本家地主的性質治安維持法と勞働者農民、日支外交、新戰爭の問題、合法と非合法の問題、前衞と大衆との問題、社會民衆黨及日本大衆黨の階級性の問題、勞農新聞對無産者新聞の問題

これらの問題がレーニン主義のメスで解剖されるのだ、そして我等はその解剖者たるために問題の本質の組み合せを知るために即ち如何に鬪爭すべきかを學び取るためにレーニン主義のメスを握ることだ、それが我等の政治的基礎教育の任務だ

十二、更に我等の政治教育は一歩を進めて我等の優秀なるオルガナイザー、アヂテーターの養成に努力しなければならない。そして此の任務はすでに指導理論の討究に進んだことを意味する。だが此の指導理論の討究と一般的政治の基礎教育は切り離してやるのではない、後項述べるように研究會の組織と内容教程に差異があり、特色があるのだ、これで教育方針が立つた

1 レーニン主義に立脚し、社會民主々義と鬪爭する戰鬪的政治的理論の基礎的教育
2 オルガナイザーアジテーター養成のための指導理論の討究
3 鬪爭方針書に對する根本修正を加へ前衞的と大衆的との組織的二元論を排し大衆的前衞的單一線への突進
4 そのために凡ての鬪爭を共同鬪爭統一戰線への努力
5 それに應じて指導方針、組織體の獨立性の獲得
6 この鬪爭を遂行する理論と行動の統一及その教育的活動

これで我等はいよ〳〵研究會の組織と方法へ進むことが出來る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

故山本氏勞農葬に於ける全青大阪地方支部の弔詞

襲ひ來る反動の××は我等の鬪爭的組合を奪ひ、政黨を奪ひ、更にまた我等の最も敬愛したる山本宣治代議士の血をむさぼつたのである。

我等が此の意外の訃に接した時、一時何を爲すべきかに唖然たらざるを得よかつたのである。されどその次に我等の頭上に堅くく刻み込まれたのは何であつたか。

悲しみの深き日、悲憤の涙の頰を燒く時、泣いてはならぬ、悲しむ時ではない。我等は飽くまで×旗を守らねばならぬ、復讐だ、山本氏を犬死にしてはならぬ「卑怯者去らば去れ、我等は赤旗を守る」とは氏の最後まで叫ばれた言葉であり、我等の常に抱きしめてゐるモットーではないか。鬪ふのだ、鬪ふことによつてのみ、白色テロルを全滅せしむる事が出來るのだ」と云ふ事であつた。山本氏が過去に於て如何に血みどろの鬪ひを續けられたかは茲に喋々する事を要しない。今度の變事が明かにそれを物語つてゐるのだから。

我等の頭上には何時も彼等の毒刃が光つてゐる。恐れてはならない。怯むではない。奴等の作つた××法通過の日に氏は襲はれたのではないか。

ブルヂョアの爲に盡し、そして奴等の基礎をきづき上げた×逆を××にする反動の[illegible]内閣は我等の代議士山本氏に對して××どころか、勞農葬にする事までも阻止しやうとしてゐるではないか。

打ち倒すのだ。田中反動内閣を、そして次から次へ表れるであらう反動の出店を盡く打ちつぶすのだ、そして平和な××××の政府を樹立するのだ。これが氏の恨みに報ゆる唯一の、そして最後の、最大の努めでなければならぬ。

何時の時代に於ても總ての××は若き青年の手によつてこそなる。貴き指導者を失つて、尚この重大なる任務を殘されたる我等勞農青年は最後まで踏み止まるであらう。若し中途に於て氏と同じ最後を遂げようとも、最後に笑ふ者、然り、次に來る勞農青年の爲に、より大なる道を開くであらう事を確信する。恨みても餘りある白色テロル、××きにしても飽足らぬ資本家地主、奴等の暴戻が何時まで續かうとも、我等は飽くまで鬪ふものである。

然り、我等は茲に我が全國勞農青年同盟大阪地方支部の名によりて氏の亡骸の前に「死するまで○旗を守つて、我等の敵、そして氏の讐に對して果敢なる鬪爭をあくまで繼續せん事を誓つて弔辭にかへるものである

昭和四年三月十五日

全國勞農青年同盟大阪地方支部

註　中途に於て横暴なる當局に中止せられた

京都三條青年會館にて

代表　重松　清美

日本大衆黨醜怪問題に對する聲明書

資本家地主の前衛としての田中反動内閣は荒狂ふ世界帝國主義の反動的潮流と共に益其××を逞うして、勞働者、農民の上に君臨しつつある。見よ！昨年三月十五日の大暴壓と其後に打續く勞農階級に對する××なる彈壓政策或ひは戰鬪的勞働者農民の××、治安維持法を改惡し、或ひは隣邦支那の革命運動に對しては武力を以て侵略的干渉をなし第二次世界戰爭の火蓋を今や東洋の一角に於いて切らんとしつゝある

即ち此の狂暴性こそ我が勞農階級の最惡の敵とし全鬪爭力を「打倒田中反動内閣」に集中せる所以である

然るに何ごとぞ！かかる勞農大衆の憎惡を他に、反動田中内閣とひそかに通牒し、我等が階級の解放を永遠の彼方へ押しやらんとして、戰線の反動化、無力化を企つるの徒輩、日本大衆黨の本部を占領するとは。我等は先づ地主、資本家との決定的鬪爭を遂行する爲めに、迫り來る帝國主義戰爭の危機と戰ふ爲めに、かかる反動幹部を粉碎して後に進しなければならない。即ち我等の勝利は目前の障害物ダラク幹部の徹底的克服をしてのみ約束出來るのだ。

我が全國勞農青年同盟大阪地方支部は我等が友誼團體日本大衆黨々員大衆の階級性の爲めに將又、全無產階級戰線の強化進出の爲めに同黨ダラク幹部の徹底的排擊を期し、全土の階級的戰士と共に、左のスローガンを揭げて一大鬪爭を捲き起すであらう。

勞働者農民を賣るダラク幹部を叩き出せ！

資本家地主、田中反動内閣を粉碎せよ！

治安維持法を蹴散らせ！

帝國主義戰爭の危機を戰へ！

右聲明す

一九二九、三、一

全國勞農青年同盟大阪地方支部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

旗靡く岡谷の戰線

一

山本宣治氏暗殺の報を今朝聞いて殘念骨髓に徹するの思ひがする。白色テロの兇刄に倒れて行くのも勇敢なる無産陣營の鬪士にとつては免れられぬ運命であるかも知れない。われわれは鬪爭によつて山本宣治氏の死を弔はねばならぬ。

山本宣治氏の鮮血は單に神田の光榮館を染めただけではない。全大衆の胸に燃えてゐる。

×××、××の政府を樹立せよ

二

横濱市電ストライキの勝利を知り力強く擴大されて行くわが陣營を祝福せねばならない。殊に本部同人諸兄が拘留檢束に屈せず戰つてゐられる事に敬意を表する。

去る二月十九日から當地に「岡谷支局」の旗を揭げた。そして資本家の牙城に肉迫してゐる。岡谷は文字通りの搾取の都である。女工さんはわれらの味方だ。全岡谷の女工達を眞に強固なる戰線へ形成するためにわれわれは全力を盡して戰ふ勇氣である。

三

目下讀者は十六名に達し、明十日午後一時より「信州印刷工聯盟」が結成される。

進め會讀書は一週間一回必ず會合し讀者會を開き岡谷戰線の前途に準備してゐる。進め宣傳本を大至急御送附下さい。

四

日本大衆黨長野縣支部聯合會は清黨運動を支持し、ダラ幹を葬るべく運動を展開しつゝある。左の決議文を見よ

決議

我が日本大衆黨長野縣支部聯合會第三回執行委員會は黨執行部が淸黨運動問題に對して最初より誠心誠意以つて其解決に當らず徒に支部大衆の動搖を誘發し、著しく日常鬪爭を衰退せしめ、剩さへ吾支部聯第二執行委員會の決議を蹂躪し、三常任、統制委員會の委員長辭任及中央執行委員本部書記の退席——中央執行委員會に於いて——迄紛糾せし、不統一非戰鬪的、非階級的行動等多くの誤謬を犯しながら、其責に任ぜざるは我々の絶對に許容し得ざるところである、依つて茲に全常任・中央執行委員の各自の辭任を勸告するものである

右決議す

昭和四年三月廿五日

長野縣支部聯合會

第三回執行委員會

進め岡谷支局 鹽原生

大衆をだますダラ幹への鐵鎚

日本大衆黨島根、鳥取の兩聯合會の主催で開催すべく準備した政治講習會は突如ダラ幹一派の無責任なる裏切りによつて遂に開催不可能となつて了つた。辨當持で仕事を休んで出てこられた農民諸君に準備委員たる僕達はどうして顏向けが出來るか僕達の行動は遊び事ではないのだ。一片の電報によつて違約することは何と云はうか。全く言語道斷の仕業である。われらはここにおいて、彼等が正體をはつきり見た。即ち、福田狂二氏によつて指摘された賣黨行爲を爲し兼ねない奴であることを。俺達は飽くまで淸黨運動を支持しダラ幹放逐の爲めに戰ふであらう。

決議

暴壓と反動の嵐の中に在つて、今や無産階級の陣營は混亂に混亂を重ね殆ど目標をさへ見失はんとする秋に當り、本講習會の開催は絶大なる意義を有するものである

今回の講師として平素より信頼と尊敬を捧げて貴下の都合に依り、一再ならざる延期に延期を重ね漸く開催の運びに到るや突如一片の電報を以て違約を敢てさるゝは、黨及貴支部に如何なる事情ありとは謂へ、吾等の遺憾に堪へざる所である。時漸く農繁期に向ひ傾日稀なる好晴にも不拘、我等は萬難を排して出席し以て政治的知識の獲得を企圖したのである。

然るに貴下の無責任によつて期待を裏切られし吾等は憤滿の情を禁じ得ざるものである。況んや今市町米子市大衆に約したる演説會の開催も不可能ならしめたるに於ておや。

斯くの如き背信的言動は實情を解せざる大衆をして無産政黨に對する信頼を裏切らしめ、政治的無關心に陷らしむるが如き惡影響を及ぼすに到るや明かである。

如上の理由に依り吾等は茲に緊急決議を以て貴下等の猛省を促すものである。

昭和四年二月二十六日

日本大衆黨島根縣聯合會 主催
島取縣聯合會

政治講習會 講習生

野津勝光外七十五名

山名義鶴殿

憤怒一二

俺達の呪敵たる、國粹主義の美名を冠り惡事を業とする資本家地主の「番犬」人類の一に汚辱す可き劣等階級の暴力團反動團、××しても尙呪嫌に餘りある七生義團員黑田保久二。斯る忌む可き暴力團員の兇刄に吾等の代議士山本宣治氏は倒れた、吾等は突然斷る戰鬪的指導者を失ひし事を悼む。

然し乍ら吾等は山本宣治氏の死を悼涙のみにて止まつては成らない。否尙一段と復讐として の激鬪を展開し議會開會中の戰死者の死を意義あらしめる爲に其日を記念とし猛烈なる街頭運動を爲さなければ成らない其れこそ戰死者へのせめてもの追悼である。

吾等は起つ、吾等は斷る秋に憤然

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

と起つ同志諸君 暴力反動團を撲滅しろ？黒田保久二を逃がすな？反動裁判を監視せよ？黒田の×××署 署長は×××の爲××を否認せんとチヤ〳〵謀り立てゝ居るぞ？赤暴力反動團七生義團員 酷悪無類汚劣非人黒田保久二も殺意を否認し正統防衛たと——何をぬかし立てやがあるんた殺意が無ければ刄物は無用た？二三の問答ぐらひで代議士ともあらふ吾等が山本宣治氏が暴力を振はれると想ふか？

同志諸君黒田を逃がすな？

暴力反動團を撲滅しろ？

黒田の裁判を監視しろ？

戰線統一！是ぞ吾等の切實に要望せし合言葉た、要望せし此の戰線統一は七黨合同へと進展し此處に吾等の日本大衆黨は結成された、是ぞ吾等の強力なる戰鬪艦た？

吾等は強大なる戰黨の基に×旗を高く押し立てブルジョアジーの牙城へと——たが斯の理想は淺日にして悲慘にも奴共ダラ幹に依つて蹂躙され夢想に過ぎ激怒と現はれた、

吾等無產階級の敵 反動王田中義一と墮落幹部との取引及反動團との合同云々がそれた？

斯くの醜聞一度傳はるや吾等は悲憤に耐へ難く然して清黨出づるや激怒に燃へざるを得ない。

兄弟諸君 俺達は 奴共ダラ幹を××にしても尚餘りあるぞ？ 奴共は俺達無產大衆を食物にしたのた、吾等の黨を賣つたのた、裏切者た。斯る憎む可き裏切者は徹底的に社會より葬らなければ成らない。

俺達は斯る奴輩を撲滅せざる限り吾等の理想社會の實現は絶對に不可能なのた

田中反動内閣をブチ倒せ

清黨運動を積極的に支持せよ

滋賀支局　松田大策

忠清南道の暴壓 元山勞働爭議！

來る三月一日を前に民○運○と無產運動を彈壓する時こそ此の機ぞ——と牙齒を露き出したる狂暴なる反動奴。

忠清南道×××の奴等、生きる爲めの民○運○の？無產者の日常鬪爭を配下に命じ抑壓せしめた。新幹會の會員及○○主義者と目する者の團體は全て全めつせよと狂つて居る。

去二月十日頃より各地方署長や高等係奴等は總出動をなし新幹會及社會思想團體の會員を個人訪問をして橫暴言して曰く。

君等は新幹會會員として何をするものかさか目的が何たるものさかさか暴言をはき退會せよと警察署全用のロール紙に新幹會本部宛退會願を受けまわり居る。

もしも反抗すると其會員は何でもする事を許さないと馬車使用許可や古物商許可や渡日や其他何でも許さないと言ひかけ狂暴し居るそれで忠清南道の新幹會は全めつせんとしつゝある彼等は家宅搜査に拘束、禁足、郵便物の差押あらゆることに×行をなして居る。

日本同志は××××政治下にある朝鮮を視察せよ！固い握手を！元山の勞働爭議に軍資金を送れ！

一、世界無產階級よ！團結せよ！

一、打倒○○帝國主義？

一、打倒○○××政治！

日本無產階級解放萬歲！

朝鮮被壓迫大衆解放萬歲！

香川縣下の小作人は機を狙つてゐるぞ

朝鮮禮山支局　赤火線生

俺は貧之小作人た。無學に等しい小供た然し此んな馬鹿げた事が默つて見て居る事が俺に出來るか？馬鹿と言われてもキ印と言われても俺は言ふ。あくまで……

縣下の農民組合があれほど結束のかたかつた組合がわけもなくこわれてしまつた、「そして小作地一反歩に月々一錢づゝ出せ」「地主も小作人も圓滿會に入れ參拾錢で一圓以上のごちそうが喰へるのた」其れは一人〳〵役場に引き出して村長と地主と村の有志と巡査諸君の言葉である。もし反對でもしようならお前は農民組合を根に持つて居るのた國賊たと言われそれでも嫌たとでも言ふなら腕が飛ぶのた。たけど俺はこうしても信じられなかつた、何となくわけもなく信じられもせず理由もわからなかつたから反對して歸つた。翌日巡査が來た、○○署一の腕きゝの巡査がそして言葉たくみに姉や父をときふせてしまつた、俺はどうする事も出來なかつたそれから一ケ月經つた後に村の公會堂で圓滿會の初開式があつた、地主も村長も巡査も何にも知らぬ小作人まで笑つて居つた。

地主も村長も巡査も同じ樣な事をくりかへし〳〵言ふた「農民組合に入るなあれは國を亡ぼす國賊たロシヤから大金をもらつて居るのた組合に入ると手が後に廻るぞ地主と小作人と手をつなげ」等々た何た馬鹿げた。

然しごちそうたけは大したものたつた、酒が二合で呑み次第鯛の燒もので一圓否二圓三圓するものたつた此の費用の不足はどこから出たのか知りたかつた。皆笑つた喜んた萬ザイ〳〵と

其の後に學校に奉安所が出來た費用が一千二百圓とかで細く書いたものは見せてくれなかつた、幾分の不正があると言はれたが唯一人として

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

言ひ出すものがなかつた。寄附で不足たつたので村費から出したそうた、等々た。農民を早く資本家地主の手より救へた。一日も早く組合が欲しい。以前の様な力強い農民組合が欲しいのた、縣下の農民は皆大聲で叫んで居る。

富山地方時報

香川縣　松浦　廣一

その一

下新川郡青木村外三ヶ村用水組合側の親作、對小摺戸村小作者側の爭議は目下親作側より魚津區裁判所へ告訴を提起してゐるが、その形勢は小作側の不利におちいらんさするので小作者側は委員五名を設け縣小作官に調停方を願ひ出でたが一面親作方は縣の調停に應ぜず徹頭徹尾、法の裁斷にまつさ云ふのたが、これはまた反動的爭議の尤もなるものである。

その二

既報西礪波郡國吉村細池、馬懸良廣對同村小作人前田庄太郎の小作爭議は調停會に附することゝなり二月九日、高岡區裁判所に於て所長、岡本小作官片桐書記及調停委員池田與三吉堀豐二氏列席の上調停會開催結局小作人前田の申立て通り圓滿解決したさはブル新聞の記事そのまゝたが組織されてゐない反動農民の爭議はそんなものたらうて

その三

富山縣農業團體聯合會第四回總會は既報の如く二月十九日午前九時より富山縣會議事堂にて開催、會長宮崎喜知藏君副會長河原治作君等座長席に着き補償米制度確立並に町村會議員改選に對する策その他農村振興に關する件等に付協議した後役員選擧方法を滿場に諮れば委員一任さなり幹事長を指名、これより宣言及決議を朗讀すれは滿場拍手喝采をもつて異議なく原案可決、終つて演說會にうつり、石川縣農民代表大鋸榮多、新潟縣農民代表須貝快天代理北山亥四三並びに會長宮崎喜知藏君等堂々熱辯をふるひ聽衆に多大の感動を與へ午後五時散會して高善寺屋にて大懇親宴をひらいたさはさて〳〵のんきな會合もあつたるものかな。

その四

ところで役員の顏振れたが先づ

△會長宮崎喜知藏（豫備陸軍步兵大尉新聞記者）
△副會長河原治作（印刷屋）
△總務角田又造、上田仁太郎、石井林次郎、田上彥三郎、佐野庄三郎片岸弘（富山紡績會社舍監）
△監事中橋健太郎
△常任監事石田久作（政友會壯士）廣田永松、黑川新藏、森健太郎、佐藤正次郎、川本久
△政治部長青木豐次郎
△調査部長金森七藏
△爭議部長菅田常次郎
△顧問須貝快天、北山亥四三、河合宅藏、山田久太郎

先づもつて天下泰平で御座る。

その五

縣下の村議戰はぼつ〳〵展開されて行く新興階級の動きが見物たさ曾つて特高課の人が云つたさ新聞に書いて、社民黨さ農業團體聯合會を擧げてゐたが靜かに此二つの集團を見れは中央政界や思想界の波動を巧妙にあやつつて賣名の機を造りそれが成功したら何處へでも身賣りするさ云ふ調子で佐藤某が政友會へ主義政策を賣るよりまた性の惡い徒がゐる。その一は社會民衆黨富山縣第一區支部長さ自稱した松本福督でありその二は農業團體聯合會長宮崎喜知藏である。松本は新添町區議戰に當選した時に政友會に奔つてしまひ、宮崎は今回の石田村村議戰に村の平和の爲にさ云ふ美名にかくれて、立候補しなけれは進んで主張主義の開陳もせず社會的にも民衆的にも煮え切らぬ意見を發表して世の中を茶化してゐる。國會議員選擧の時は日殿から候補たなさと新聞に書かせてそ知らぬ顏ですましてゐるし平凡社の擬國會や地方新聞のそれにまで自己の名を出してゐるが一體何の主張があるのた。六十幾つかの小作團體を指導してゐるさ云ふがさんな主張主義で何をなんさ指導してゐるんた。

その六

これに反して海老江村の無產黨である入江榮作君は獨自の立場で戰つて見事當選の榮を占めた。

村山銀次郎

山陰に於ける若人へ

全山陰に於ける無產階級の若人よ地主資本家階級の爲に橫暴なる迫害さ戰つて來た思ひ出多い昭和三年も逝つたのである。そして壓迫さ搾取に反抗しつつ昭和四年の新春を迎へたのである。

我々無產階級の若人は此の昭和四年さ云ふ年を如何に戰つて進まなければならないのであらうか。現に我が鳥取島根兩縣下に於いてはある少數の町村を除く外はほさんさ皆町村會議員の改選期である事を忘れてはならないのた。

昨年に於ける普選による我が國最初の代議士選擧の實現せられた曉に如何なる結果を表わしたのであらう。鳥取島根兩縣下に於ける三名の無產黨候補者の落選は我等に何を教へてくれたか。山陰に於ける無產者の數及び資本家の數をコントラストして見ても三名の無產黨代議士は最高點を得て當選すべきは當然の歸結でなければならないのた。即ち三名が三名共落選した原因は官憲の干涉及び財閥の壓迫買收の重圍さ又黨支部の無組織微力を表してゐたのではないか。然しその中に表れた無產候補者の得票は彈壓さ迫害の選擧戰に誘惑さ買收をはねのけて起つた民衆の力さ云ふべきである。

進め

全山陰に於ける若人よ

我々は山陰に於ける町村會議員の改選にあたり昨年に於ける總選擧の經驗と熱意を持つてやがて來るべき戰ひの準備のために突撃の刄を磨き我等の候補者の爲に戰ひの道に進まねばならないのだ。

つまり社會改革の爲に我等の代表者を町村會に送り我等の理想鄉なる村を作り上げねばならないのだ。

全山陰に於ける若き闘士諸兄妹よ現社會に於ける我々無産青年男女は人類の爲に積極的に戰ふべき歷史的使命が双肩に與へられてゐるのである。

無産階級解放の爲に集會に言論戰に努め、いまだ田園に眠れる民衆をよび覺まし我等の自治の爲に我等の自由の爲に我等の新社會を作り上げねばならない。

裏日本の山陰に於ける無産階級の若人よ。我々は此の運動の爲に積極的に自由と正義の爲めに進んで戰はふよ。全山陰の若人よ。しつかりと手を握り合つて戰はなければならない。

島根　田中好子

暴壓下に大勝した？
横濱市電爭議應援記と批判

三月五日早朝、突如横濱市電從業員兄弟は總罷業を決行した。私は早速、應援のため東上の人となり、櫻木町驛に下車した時、勞働者サラリーマンの群が寒風にさらされながら街頭に同僚の勝利を願ふ語と歩みの傍を、これを異端者視すが如く走り拔く人力車と自動車の異狀なる活動振りに、いやが上にも憎惡憤激の血を躍らした。私の歩が急速度な進行を以て爭議團本部に着いた時、多くの同志は血走つた眼で堅い握手を以て迎へて吳れた。

私は全力を盡しての應援を誓ひ、對策を凝議した後、再び東京に引返す事を餘議なくされ第一日は暮れて行つた。

此爭議は財政窮乏の名の下に馘首されたる二人の同僚のために馘首反對と亦、局長排斥の立場から起されたもので直接、生活條件の改善の要求でないため、從つて其解決は早かつたのであるが、吾々は如何なる場合に於てももつと奥深く其の闘爭目標を全無産大衆の中に立てねばならぬ。單なる觀念的闘爭意識の滿足に足れりとするが如きは、勞働爭議としての何程の價値も無いものである。今回の爭議に於ても明かに、日和見主義者と戰闘的大衆との內訌が暴露された。吾々はより不利益な、より至難な闘爭條件に於かれゝば置かれる程、其の血みどろな闘ひの中により大なる成果を穫成し得ると云ふ強固な實踐的効果の事實を過去の多くの爭議によつて體驗して來た。吾々は其のより大なる成果を、持久戰に於いて、或は慘敗する其の血みどろな闘爭の結果に於いて求める事を要望して居た。

然し、其要望は一部、日和見主義者によつて裏切られ、吾々はたゞ單なる一犠牲者として拘留された事を返すがへすも遺憾とする。

私は二日目（三月六日）午前十一時頃、爭議團本部の階上に上らんとする時、磯子署のスパイに發見され飲澤君と共に檢束され、二通のビラは少數同僚に手渡した外、全部押收された上、慘々になぐられ、憤怒に逆上しながら、豚箱に閉ぢ込められた。其處には七八名の同志が同樣、畜生にされて居つた。參考までに其ビラの全文を次に記載して置く。

檄

横濱市電從業員諸君！

諸君は馘首の俎上にのせられつゝある兄弟のため又全無産大衆のために奮然として立つた。

諸君は電車賃値上げの暴擧に反抗して遂に起つた。

從業員の立場から又市民の立場から無産大衆の立場から諸君の唯一の武器であるストライキを以て横暴なる横濱市電氣局に答へたのだ今市電氣局は收入減による財政整理を名として、全從業員の又、一般市民の生活を脅してゐるのだ。

横濱の全勞働者は又六十萬の小市民は皆諸君の味方である。否全プロレタリアは皆諸君の味方である。

吾等はあらん限りの力をもつて兄弟の行動を助けるであらう

大膽に勇敢に、飽く迄闘へ！

結束を固めて　切を出すな！

進め社
全國勞農青年同盟有志

檄

横濱市全交通勞働者諸君！

市營バス從業員兄姉諸君！

乘合自働車從業員兄姉諸君！

横濱市電の兄弟は六十萬市民のために否無産大衆の生活權獲得のために奮然と起つて闘つて居る。

市電の兄弟が勝利すればとりも直さず、それは全横濱交通勞働者の勝利である。敗れゝば諸君自身の敗北なのだ。必らず諸君の頭上にもやがて失業と生活難の來る事は一目瞭然たる事實である。此のストライキの勝敗こそ、横濱交通勞働者全兄姉の否全プロレタリアの死活問題なのだから、今此ストライキを勝たすべき重大な使命はたゞ諸君のストライキ、參加、不參加によつて決せられるのだ。

勇敢に起て！卽時、同情罷業を決行しろ。勝たせろ！六十萬市民のために全プロレタリアのために。默視するは全無産大衆に對する裏切である。吾等の失ふものは、鐵鎖のみ、得るものは全世界だ、全横濱市交通勞働者團結せよ！

進め社
全國勞農青年同盟有志

次に、其解決の結果を見て、徹底的に批判を試みよう

一、出 所長渡邊正義に三千圓、庶務課書記に二千圓支給の事

二、爭議による犠牲者を出さざる事

三、爭議費用を一千圓支給の事

四、爭議中の日給を支給する事

此爭議の成果は何か？それは此解決

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

條件以外何者でもない。反つて、支配階級をして、青年團在郷軍人會の反動的運用の再準備と支配網の完成を助長せしめた。何故、爭議團は、局長排斥、馘首反對、一錢値上げ反對、減車政策反對を客年提出時に慘敗した待遇改善の要求を迄、然も最も好機會としての今回の爭議の重要目標に定め得なかつたか？全共和會の結束を全横濱交通勞働者の結束に、全日本交通勞働者の結束に、全プロレタリアの結束に迄、鬪爭を發展せしむべく努力し得なかつた？横濱市營バス從業員は起つた、横濱ドツク工作所も起つた、仲仕組合、金属勞働組合も起つたのに何故、彼等は血みどろな鬪爭を忌避したか？それは餘りに全横濱の勞働者を失望せしめ、全プロレタリアを唖然たらしめた事實であつた。

吾々は、昨年共和會が大會に於て政黨支持を自由問題にと決定したるが如く其大衆的團體なるが故にこそ持久戰——よしそれが血みどろな敗戰にせよ——を要望する。それは、勞働大衆を血みどろな試練の中により戰鬪的化する事に依つて階級意識の向上から、全體的搾取より強烈なる彈壓に抗して、眞實のプロレタリア×組織にまで進展せしめ得るからである。此意味に於て、眞實の勝利は一部日和見、反動主義者によつて完全に對岸に追ひやられたのである。そして單なる表面的勝利は勝利にあらずして慘敗に終つたのである。吾々は如何なる大衆的動員に於ても支配階級が被支配階級に對する全體的搾取の鐵鎖から大衆を勇敢に、而も血みどろな鬪爭の中に全プロレタリアの解放へと誘導しなければならぬ。そして被支配階級が最も尖鋭に對立する事によつて、敵の鬪爭的エネルギーの消滅を速かならしめ、偉大なるプロレタリア×の組織を急ぐべきである。

進め信州讀者會の鬪爭

工藤 勝市

進め信州讀者會の戰鬪的分子に依つて、全國勞農青年同盟長野縣支部は守られて居る。——即ち、支部長工藤勝一、書記長西卓吉、支部幹事丸山正之、傘木幸盛、傘木修、關原庄次、飯島賢次郎等々で、隨つて進め讀者會の發展は、即青年同盟の發展を意味する。吾進め讀者會は、現在、全信州の農村、工場に持ち込まれ、廣汎なる讀者網がはられ強力なる組織を持ち各地域にて研究會茶話會を積極的に開催し、青年同盟の鬪士養成と、其指導的な立場に立つて居るか、三月十五日のプロレタリア紀念日には、戰爭反對及讀者會青年同盟の宣傳ポスター、ビラを以て全縣下をはり巡らした。——こうした強力なる組織の上に立てる吾等の行動におそれ戰いた官憲は、同月二十三日二十四日兩日木崎夏期大學に開催の縣下青年研究大會への潜入を豫期して、二十二日早朝、讀者會支部事務所をおそい、支部長工藤勝一君を檢束、西卓吉君は禁足に會い青年同盟、讀者會、信州文化協會のビラは押收されてしまつた。地元たる北安曇班の戰鬪的分子其他各地の吾等が同志も同樣檢束或は禁足となり、各班大衆は即ち各警察に抗議したが、かくの如き官憲の彈壓の中に、吾等の旗は勇ましくも伸びて行きつゝあるのだ！——因に讀者會、青年同盟の班は目下松本、筑摩、北安曇、南安曇、諏訪、長野、上田の七班の外二郡に班準備會を擁して素晴らしい發展の途上にある。

進め松本支局

勇敢にダラ幹排撃運動に參加した常滑支部準備會

荒狂ふ××的テロルの彈壓雨下を潜つて鬪爭し續けて來た政治的自由獲得勞農同盟愛知縣常滑支部準備會は淸黨運動同盟愛知縣支部聯合會との緊密な提携の下に、日本大衆黨門戸開放麻生平野河野田所等々のダラ幹紛碎運動を猛然起つて開始した、勞農同盟常滑支部準備會は今や一切の合法主義をミヂンに紛碎し勞働者農民の信頼を一身に擔つて工場へ農村へ其の根を張りつゝある過ぐる三月十五日を期し全郡一齊に犧牲奪還ダラ幹紛碎新黨解散抗議、牛馬車組合の擴大等々をせん動せん傳して戰ひ拔いた。

そして日本大衆黨乘取運動に鬪爭を展開した、ダラ幹に奪はれた日本大衆黨を吾々の手に奪還する鬪爭を避ける奴は非階級的反動だ、合法主義に陶然さしてゐる合法主義者だ、此の運動を勇敢に強力に展開してこそ階級的立場を嚴守する者以外の誰でもない、勞農同盟常滑支部準備會は日本大衆黨乘取鬪爭を本部に提案し、是非にかゝはらず、此の鬪爭に參加したのだ。

全國の戰鬪的勞働者農民諸君、合法政黨下の大衆が我々の手から放棄してはならない、合法政黨下の大衆を我々は鬪爭によつて奪還しなければならぬのだ、合法政黨下の勞働者農民諸君と結合し合法主義者及ダラ幹を紛碎し眞のプロレタリアの×の下に彼等を引入れねばならないのだ吾が勞農同盟常滑支部準備會は全國の勞農同盟支持者に率先して日本大衆黨乘取運動、及合法主義者紛碎鬪爭に參加したのだ、合法性の一片迄奪はれた常滑支部は更に工場へ農村へ食入つて行く、そして當面次のスローガンを掲げて鬪つてゐる。

日本大衆黨を乘取れ、合法主義者を叩きつぶせ、麻生平野を追放せよ××××の××樹立、資本家地主の政府を倒せ・××××××××××××××れ、淸黨運動に參加せよ勞働者農民××團結せよ！

政獲勞農同盟愛知常滑支部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

朝鮮社會運動小史（一）

裴成龍
K・K・M譯

本稿は本年一月一日以降「朝鮮日報」に發表された論文である、必要に應じて省略した個所もあるが、元より本稿が必要とする重要なる部分でなき事は勿論である。最近に於ける朝鮮社會運動史の概略を知り度ひ人々にとつては都合の好い文獻であらう。裴氏に斷りもなくした粗雜と勝手な省略を譯者はお詫びしてをくと同時に文章の中には譯者の獨斷に任かせて書いた部分も尠くないことをお斷りしてをく（金生）

勞働共濟會と青年聯合會（一）

（百五十行省略）

◇ ◇ ◇

朝鮮に於ける資本主義が未だ發達せざる間際に、俄然外來の國際資本主義の來襲を蒙つたのは我等のよく知る處である。我等の社會は最近三四十年前まで其の内部的社會的生活形態が封建社會の遺習・遺俗を脱することが出來なかつた。其の政治上道德上に於ては苛酷極まる專制と、横暴が恣行したけれども、其の經濟上、産業上に於ては極めて素朴なる田園農制の樂天的生活を持續し、營利的觀念及びその活動は極めて薄弱であつた。然るに、斯かる狀勢に乘じ外來の諸勢力の侵入は朝鮮社會のあらゆるものを、文化、政治、經濟等を問はず凡て轉換を與へずにはをかなかつた。（中略）

特に我等が忘れることの出來ないのは、政治的主權を喪失したる彼の一九一〇年である。日韓併合以來總督府の武斷政治が朝鮮人の一切の行動を禁壓し、集會と、結社を禁止し、國境出入まで阻止した。憲兵警察の實施と、差別待遇等その何れも朝鮮人の〇〇〇〇であらざるものはなかつた。全社會が暗黑裡に包れてゐた一九一四年に歐洲大戰亂が勃起し全世界を震駭し、五個年の間歴史上未曾有の大慘態が續かれ、一九一八年に至り漸くこれが終熄した。その翌年三月一日に朝鮮に於ては民族的大運動が勃起したが、これが即ち其後に於ける數々の諸問題の導火線となつた三一運動である。

三一運動は十個星霜の間寺内、長谷川兩總督の武力政治下に置かれて、死そのものゝやうに〇〇〇〇〇〇し、何事も考へることが出來なかつた朝鮮人の熱烈なる〇〇〇の發動である。なほその客觀狀勢としては、大戰後の反動に依る自由に對する風潮が濃厚であり、内部的に於ては政治的思想と現實生活の沈痛たる不安等多くの事實の重複に依つて胚胎せられたるものである。以後運動は一瀉千里の勢力を以て全國化し數多き()〇と犧牲を演出した。

三一運動は純然たる民族的運動であり海外の各地と氣脈を通じて宣傳に努力したものである。而してその指導的立場にある人々の理想とする處は資本主義的民主々義の樹立であつた。（中略）

斯く、該運動が全國的に連絡して起りつゝある際同年九月齋藤第三世總督が赴任し、即時文化政治の實施を標榜し、小規模の修養、教化に關する集會を許した。しかし斯かる反面に於ては軍隊を增置し、警察費を激增する等、萬全の守備に奔走したは勿論である。之より朝鮮には民主主義的社會運動の傾向が漸次一般化するやうになり、都邑を通じて學生の會合、青年の會合、紳士の會合等民族的實力を養成し集團生活の訓練を目的として、之等が無數に組織化された。而して、これに依り民族的團結を高潮するに至つたのである。

それは確固たる統一的組織的行動とまでは云へないが教育に努力し、經濟的自衞に留意し、新しき資本主義文化の建設を目標とする。この運動は尠くない効果を表したのは事實である。けれどもこの運動が大衆化するには、あまりにも迂遠であつた感がある。小數文化主義的識者階級の紳士青年のそれであつたゝめそれが直に以て大衆的大力量を發揮することが不可能であつたのである。

◇ ◇ ◇

三一運動が勃興したる一九一九年は不安に包まれて、動搖の中に暮れ行き一九二〇年の新しき年を迎ると共に社會的一般狀勢は統一の取れたある組織體を必要とするに至つた。其の歳の一月に三個の朝鮮文新聞が企劃され、朝鮮社會の勞働文化を樹立し、舊制度を改造せんとする目的の下に朝鮮勞働共濟會が發起された。四月には既記三新聞、東亞、朝鮮、時事が發行され、その準備が完了した朝鮮勞働共濟會が三百餘名の會員を抱擁して盛大に創立された。之は己未以後に於ける朝鮮社會の表面に現れた大衆的團體としての始めての組織であつた當時其の會員中には社會主義的意識を有する者が無かつたのではないがその大部分は英雄主義者、名利家、實業家、醫師、辯護士、神官等の人物であり、會自體の空氣も勞資協調的な色彩を帶びてゐたのである。當時の活動分子としてその主要なる人物は朴重華、朴珥圭、金明植等の諸君であり、會の目的とする處は「朝鮮勞働社會の改造」にあつた。

即ち、

一、智識を啓發する事
二、品性を向上する事
三、貯蓄と勤儉を獎勵すること
四、民衆衞生を獎勵すること
五、患難を救濟する事
六、職業を紹介すること
七、其他一般勞働狀況を調査研究すること
八、機關紙「共濟」を發行し以て一般勞働文化を普及すること

等の事業が會の活動内容であつた

◇ ◇ ◇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯の如く共濟會は何れの點より見ても之が社會運動團體であるとは云ひ難いのである。其が直接勞働者自身の團體でないばかりでなく、勞農階級の眞の解放を目的とする集團でもなかつた。故に世人は同會を「眞正なる勞働者が出演する前期に於ける假裝勞働者の集り」或は「勞働者を戲弄する高等遊民團體」とも呼んでゐたのである

けれども、當時なほ朝鮮社會に於ては勞働賤視の觀念が極めて強烈にして、勞働者を奴隷の如く取扱ふのが事實であつたばかりでなく、社會に於ける一般的思潮もその潮流が民族的政治運動に傾注する傾きがあつたのである。然るに未だに民族的政治鬪爭の意識が結成されぬ間に、斯かる勞働運動的色彩を帶びた集團が生れたのは、一面に於て朝鮮社會運動の中心分子の中に社會主義的意識を有する者が相當に多かつたのを物語るのではあるが、社會的狀勢が民族的政治鬪爭の團結を先きに要求せざるを得なかつたので同會の組織的形態と、指導理論がそれ以上の明確なる色彩を見せることが不可能であつたらう。なほその原因の一面に於いて見のがすことの出來ない點は即ち、當時の社會的環境から來る合法性の限界と、構成分子の團體的訓練程度、主義宣傳を公表するに都合よくするための諸點を考慮し、斯く設策したのでもあらう。即ち、彼等同會の指導分子の手に依つて造られる處の機關紙「共濟」が創刊號より唯物史觀、階級意識、資本論、勞働價値說等の學說主張を以て充たされてゐたことに依つても、同會の指導精神の中に祕められてゐる目的認識が果して那邊にあるかゞほゞ推知出來るのである。斯くの如く同會の指導精神が表面上勞資協調的であり、微溫的であつたけれども前說した關係のやうに同會が朝鮮社會運動の斥候的開拓機關として認定せざるを得ないのである。なほ勞働大衆の團結的偉力を示さうとして努める勞働者、農民に經濟的利益を擁護せんがための戰ふ方法を敎へた一ツの方法でもあつたのである

◇ ◇ ◇

斯くして同年の夏期に至ると、全鮮各地方に勃興したる地方青年會の聯合統一の必要を認め、京城に於いては「朝鮮青年聯合會期成會」を朴一秉、柳章浩、尹滋瑛、尹柱衡、權永洛、韓基岳、安浚、金明植、金翰、張德秀、李時琓、吳祥根等二十三人より發起され、同十一月に至り「朝鮮青年聯合會」が百三十三の參加團體聯合に依り創立するに至つた。同會の綱領は左の如くである。即ち

一、社會を革新すること。
二、世界の智識を廣く求めること
三、健全なる思想を以て團結すること
四、德義を尊重すること。
五、健康を增進すること。
六、產業を振興すること。
七、世界の文化に貢獻すること

等で同會はその目的を達成するために次の事業を爲しつゝあつた。

一、各地青年團體の相互親睦に關する會合の臨時開催
二、風紀改良
三、雜誌と必要なる圖書の刊行
四、講演講習又は夜學の開催
五、青年就學の便宜圖謀
六、運動會の臨時開催
七、產業團體の組織獎勵
八、生活改善に關し必要なる諸般事業

斯くの如く同會の綱領と事業細目に表れたる處は民主主義的文化運動の實力養成であつた。一般地方青年團體の目標としたる處の智、德、體三育の涵養と地方改善の範圍をより擴大したるものに過ぎなかつた。けれども當時の社會的一般狀勢は、民族的思想の雰圍氣中に包まれてゐる程度に信望が同會に集中するやうになつたのは疑ひのないことである。該會と前記朝鮮勞働者共濟會を比較すれば、その一つは民族的文化の普及を標榜し、その一つは勞働文化の普及を標榜したるが如くである。共濟會もその全體より見ると社會運動團體としての色彩は極めて朦朧たるものであつたが、聯合會も全體的に觀て社會運動團體としては自ら別個たるものであつた。けれども聯合會にもその活動分子の中には社會運動方面に意識を有するものも尠くない狀態であつた。故に該兩會が目的とする處は自ら相異したけれどもその構成主要分子の精神的方面を解剖すると新興運動と、民族運動に意識を有するものが混同して組織したるものであることが事實である。即ち、朝鮮に於ける新しき勢力の表現である新進青年を網羅して組織したる無分別の二大會合であつた。それのみならず此の兩團體の幹部と、活動分子は概ね同一人にして兩團體に關係したる結果、その目標は異なれども、事業の方針と、進展の手段にありてはある部分まで共通點が多かつたのである。即ち、〇〇國主義的民衆運動が必然的本質であり、且その形態でなければならない。斯くの如く朝鮮に於ける組織化せる〇〇運動はその最初の第一歩より已に民族及び階級運動の提携的連帶的形式を取つたものである。

彼の朝鮮青年聯合會期成會が組織された以後に在京城青年團體より同聯合會に參加し其の總機關を運轉する役員を派遣せねばならぬ必要に應じ京城に於いて一個の青年團體が始めて組織されたのである。これが即ち金翰、李得年、洪增植、金思國、李英、張德秀、金明植、吳祥根等の諸氏の發起により出現したる以後朝鮮社會運動に特に青年運動に多くの功績を現した彼の「ソウル青年會」である。

◇ ◇ ◇

前記兩大團體は、相互提携して一九二一年の劈頭より海外人士等との連絡が頻繁と行はれると同時に內地に於いては共濟會の支部を各地方に設置して地方と中央との有機的連絡に努力し、聯合會に於いては地方巡回講演隊を組織して地方を巡回したものでこの兩團體の斯の種の活動は沈滯せる當時朝鮮の人心が鼓舞激勵するに多大なる効を奏したものである。けれどもそれにより現はれる社會的影響の大部分は悉皆民族的氣分を帶びたる狀勢を示したのであるが、之も矢張り傳統的民族感情と、其の環境の不安なる立場より成長したる當時朝鮮人民の立場としては如何ともすることの出來ない趨勢で

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あるといふことが出來るのである

　斯くしてこの年の夏時分より地方に於ける分散的文化運動が盛んになり、彼の海外留學生團、內地學生團、青年團其他一般社會團體の地方を巡回する講演、演劇、音樂、講習等が盛行し、人氣を作振する影響が多かつた。

　朝鮮勞働共濟會に於いては、勞働者の共同利益を計るため消費組合を組織し、汎太平洋會議に對する參加問題は社會の○○なる輿論を起したものである。之と時を同じくして勃興したる事件が彼の日本新潟縣に於ける朝鮮人○○問題で、該事件は朝鮮の特に京城の凡ゆる社會運動團體若くはそれと態度を同じくする團體を憤起せしめ朝鮮勞働共濟會並びにソウル青年會の提唱に依り各社會有志等多數の參加協同を得て該事件調查會を組織し特派員を派遣する等一時朝鮮社會の輿論はこの事件のため沸騰した。畢竟該會の調查報告演說會は警察の禁止する處に依り初志を貫徹することが出來ぬ運命に會つたのであるがこの事件は朝鮮に於ける一般社會團體特に社會運動の各團體をして相互氣脈を通じせしめる最初の機會を與へた動機と化したのである。そして九月釜山に於ける五千名の勞働者の大罷業は當時幼稚なる朝鮮勞働運動界としては實に一大奇觀であつた。之は釜山に於ける各會社工場に雇傭せる勞働者が賃金引上を要求する運動であり、それが自ら組織體に依る規模ある、統一の取れた抗爭でなきは元よりであるが多年勞働界に生活し一般都市勞働者の心理と氣質を擽慨せる者の行動であつたゝめ、この抗爭は相當なる威力を現し社會の耳目を聳動せしめたのである。

　この一九二一年は三一運動を起點として興奮したる社會的氣分が漸次停熄するに至り、ある組織的有機的活動の必要を切望して止まぬ時期であり、文化運動の內容が要求する意識を一般化し、統一化する爲め努力し、他面に於いては、文化運動團體の內部に於て、漸次社會運動に對する意識が起りつつあつた。即ち、從來は社會運動に對し明確なる信念を有する者にしてさへ民族運動團體若くは之に類似する團體の內部に於て共同し妥協したるものであるがこの年に於てはさうすることも出來ない兩見解の差異に因り兩運動の境界線が極めて明確に現はれ出し、それ自身の獨特の力を發揮せねばならぬといふ見解を明確に露出するに至つたのである。（この項未完）

市町村會選擧の目標

石川力三

　各府縣において、市町村會議員選擧が（特定な小部分を除いては）施行されてゐる。わが全國農民組合を初めとして、一切の無產政黨はいづれも候補をおし立てゝ戰つてゐる。

　われわれはこの市町村會選擧に於いて、市町村會選擧の本質と目標をはつきり見極めて、戰鬪的勞働者農民をおし立てるべき事である。

　わが全國農民組合第二回大會は次の如き根本方針を決定してゐる殘された問題はそれぞれの地方の特殊事情を掴んで戰ふと云ふ事である。

市町村會選擧運動對策の件

　實行方法

一、選擧前の運動

イ、日常鬪爭の展開とそれを選擧鬪爭と結びつけること

ロ、地方自治體の醜惡なる內容及選擧に關する調査

二、選擧運動

イ、總本部に對策委員會の設置と、その統制下に聯合會各支部にも同樣機關の設置

ロ、各地方においては無產團體と連絡委員會を設置すること

ハ（イ）又は（ロ）の機關によつて主張及スローガンの決定

ニ、費用の調達は原則として組合員の寄附によること

ホ、候補者の選定は（イ）又は（ロ）の機關により

支配階級の壓迫に屈せぬ人敵と妥協せぬ人

大衆動員の先頭に立つて勇敢に鬪ひ得る人

成る可く勞働者農民である事、現在組織內で活動しつゝある人等を條件として選はれるべきである。

ヘ、バクロ能力者を中心に辯士團の編成

ト、ビラ・ポスター等の印刷物の作成、撒布、貼布

チ、選擧鬪爭を通じて未組織農民への働きかけを活潑にすること

スローガン

税金は資本家地主から出させろ！

無產農民負擔の惡税をやめろ！

無產農民本位の施設を行へ！

市町村長を一般投票で決めろ！

市町村から政府及び知事の干渉をやめろ！

市參事會をやめろ！

選擧法を改正しろ！

働く農民に土地を與へよ！

×

　但しわれわれがはつきり認識してかゝらねばならぬ事には、無產農民の解放は市町村だけでは出來ぬと云ふ事である。無產農民の解放は××××の政府樹立の曉でなければ決して出來ないのである何故なら、資本家地主の政府がある間はわれわれの解放はあり得ない。市町村會に議員を送り込んだから、すぐ農民の生活がラクになるなどゝ夢にだに考へてはならぬたから、市町村會選擧は市町村會占領をもつて萬事成れりなどゝ云ふ目標の下に進んではならない。

　資本家地主に對する鬪爭の一分野を分擔して戰つてゐるとの意識の下に、市町村機構のベクロ、大衆的日常鬪爭の激發を結びつけて行かなければならぬ。市町村會選擧に當り先づ爲すべき任務は、鬪爭の目標をはつきり認識してかゝる事である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夜は、よほど深かつた。

地上には、雪が全面に蔽ひ散かれてゐた。そして嵐をはらんだ風が、北の方から吹いて來た。

「止まれッ！」

鐵橋の陰から、突然人間の吐鳴る聲がした。そして、續いてけたゝましいピストルの爆音が夜更けの靜けさを打ち破つた。

武裝した歩哨兵が、彈煙を追ふやうに雪の上を驅けで行く。目的地へ立ち止まると、彼は、息をきらした聲で狂人のやうに奴鳴り散らすのであつた。

「貴樣、なに者だ！」

忌々しい叫び聲が、曠原の冷い風を微に震はせるやうであつた、

地上に伏し倒れた白い物體の上に、歩哨の銃劍が慘虐そのものゝやうにさしむけられてゐる。夜の影に、雪に照らされた刄の光りが殺氣をひそんでゐた。

「あやしい者では………」

白い物體が哀を訴へるやうに細い聲で呻く。

「何を……畜生ッ！突刺くぞ！」

「アイゴー」

銃劍が更に光りを放つた。凍り堅まつた歩哨の軍靴が、いく度も白い物體の上に蹴りのめされる。何度も、それが繰返された。けれども白い物體は、石かなにかのやうにひし倒れたまゝ、もはや動きがとれなかつた。たゞ微な呼吸の音が虫の息のやうに首筋の動脈を震はせながら雪の上に響いた。そして、時々、病める猛獸が呻くやうな長い〳〵溜息を吐き出した。

「アーイーゴー」

その聲は肺腑にしみるほど、人間の最後の悲しい意味を含んだものであつた。

歩哨兵は、雪の上にひしがれてゐる白い獲物がもはや人間に比べるべきものでないほど弱りきつた、弱々しい存在であるばかりでなく、幾度何處を見ても抵抗すべき兇器らしいものを持つてゐないのに氣着くと、ほつと安堵の胸を撫でおろした。それは何よりの幸のやうに感ぜられた。

彼はそつと外套のポケットに手を入れると、白いハンケチを取り出した。それは軍帽の底に河と流れる冷汗を拭きとるためであつた。そして彼は、前と違つて、落ち着きはらつた聲で嚴しさうに罵つた。

「畜生ッ！生意氣に俺達の目を盗んで脱走を企てやがる。ヘエイ！いまに見ろ、貴樣を××にしてやるぞ！」

またしても、彼はこれどいふ苦闘もなく、樂々となし得たこの紀念碑的な功績を豫感せずにはゐられなかつた。彼は明日の新聞が一齊に、自分の名譽のために賑ふであらうことを信じた。願はくは、この獲物が國境の警戒網を脱出する國家の重大な犯人であつて欲しいと思つた。それでなくても、さうした犯人の嫌疑者として多少の條件を備へてゐて呉れさへすれば……と思つた。

彼はこゝまで考へ及ぶと、幸の微笑みを洩らさずにはゐられなかつた。しかし彼の瞳は、戰くやうに、始終鴨綠江沿岸の森や、長い鐵橋の暗闇に注がれてゐた。暗い物陰からいつ敵が出沒して、襲撃をくらはされるかは計り難いことであつたからである

彼がCとMの國境守備隊として、南の地方から轉任を命じられて來たのは、この秋の始め頃であつた。また六ケ月と經たない短い間ではあるがその間に夜と晝となく警戒網を潜るものは多かつた。西伯利亞地方へ脱れてゆくもの、または、國内侵入を企てるものゝ數は、數限りがなかつた。秋の落葉頃には枯木の保護色を利用し、冬は雪白の白衣にくるまつて、ざうさもなく鬼門を突破するのであつた。ある時は、馬賊に化て國境の警備隊を襲撃することもあつた。彼等は常に、見たこともない新しい發明品の武器を所持してゐた。そして應戰の結果は、いつも彼等の勝利に歸することが多かつた。

「それにしても、此の野郎は大膽な畜生だ。單獨で、しかも警備隊本部の直鼻の先を逃やうとしやがる。」

彼は益々、自分の行動の勇敢さが偉大なるものゝやうに感ぜられて仕樣がなかつたしかし急に彼は、冷水をひつかけられたやうに憂鬱の谷底に落ち行くやうな氣がしてならなかつた。

「考へるたに身の髮がよ立つことだ」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歩哨兵はよろめくやうに戰きながらあたりを見配つた。そして彼は、つひ昨夜のこと、鴨緑江沿岸の森で、何者かに物音もなくやられて仕舞つた同僚のことを思ひ浮べた。

「キットこの野郎の仲間に違ひない」

彼は、疑ひもなく信じきるのであつた。そして銃を逆さにすると肩木の處で白い物體を思慮もなく叩きのめすのであつた。

その時である。地平線の彼岸で、豆を彈くやうなピストルの音が響いて來た。歩哨兵は、きよつとして音のする處を眺めた。そして不安を感ずる者がする怖ぢけた態度で、ピストルのサックへ手をやつた。しかしそれは仲間の合圖であつた。同僚であることがわかると、彼は空砲を三發打ち放した。それは、所在を知らせる合圖である。雪を蹴りながら駈けて來る黑い影が段々大きくなつて見へた。やがて六名の守備隊が白い物體を取圍んだ。懷中電氣がはつきと輪を描いて白い物體を照した。

「不逞の人だ！」

「非道い畜生だ」

「死んだ眞似なんかして、しらはくれてゐやがる」

「密渡を企てやがつたんだ。鐵橋の南側から橋梁の物陰や、鐵柵傳ひに四つはいになつて來やがつた畜生！」

歩哨兵の聲が、暗闇の中に響いた。その聲は、敵將を捕捕にした騎士の誇的な態度そのものであつた。

「所持品はあつたかえ……」

「あります。お金を銅貨二十六錢と、風呂敷包が一つ……」

「その他は……」

「戸籍謄本のやうなものが一通あるばかりです」

「それを見せて呉れ！」

「はい……」

その戸籍謄本には次ぎのやうに書いてあつた。

戸主　李　樂三（五〇才）
妻　朴　召史（四八才）
長女　貞姫（一七才）
長男　貞一（一一才）
次男　貞男（八才）
三男　貞九（六才）

そして戸主李樂三の欄には特に徴役三ケ月に處すと朱記してあつた。

「御苦勞だつたの……」

「反抗したやろ」

上の者らしいものが歩哨に向つて云つた。

「叩き×ちまへ……」

守備兵は、互に勝手なことを呟きながら、鐵のやうに凍み堅まつた軍靴で白い物體を蹴つたり、踏み躙つたりするのであつた。けれども白い物體は、全く石や木のやうに四肢を大の字にひろげたまゝ凍り着いてゐる。その周圍は、血が流れて雪を赤く染め拔いた。

その上を、嵐は曠原に吹きしきる。

二

南の國から北へ直行する汽車は、鴨緑江を渡る前、C驛で餘程長い間の停車時間を要した。

それは夜更けの一時頃であつた。急に、大陸の嵐が荒れて來るので、車内の暖房裝置も必要であつた。またトンネルのやうな闇の中を進行するのであるから除雪裝置も必要であつた。その上、石炭や、水は、凍りついてゐる曠原の驛では駄目なので、やはりS驛で用意する必要があつた。汽車は、まるで急に激戰地へ突進する決死隊のやうに、すべてに到れり、盡されりと云つたやうな武裝が施されるのであつた。

それはかりではない。この驛では、旅行者の誰もが忌むべき乘客の檢閲が始まる。十幾箱の乘客を虱潰しに檢閲してゐるのは實に容易な業ではなかつた。

「御面倒ですが、乘車券と、所持品を拜見させて戴きます」

身を切るやうな冷い風が、ひゆつと飛び込んで來たかと思ふと、扉を締める金具の音ががちやんと鳴つた。そして威勢のよい、若い檢閲吏と、陸章をつけた憲兵が、さやくと車室に現はれた。

煙草の煙りと、汗臭い人間の匂ひで汚れきつた車内は、混濁の中で急にどよめき出した。

眠そい煙草の吸殼をはらふため、長い煙管を床の上に叩くものがあつた。ぶつくさ呟きながら、懷中の底から切符を探し出すものもあつた。チョビ髯の生えた口を、太きく開いて居眠りをしてゐた百姓風の者が狼狽して眼を開けた。そして棚から汚い襤褸包みを持ち降ろした。海老のやうに腰をかゞめてゐた老婆が、たるそうにその手を銅色の鐵苦茶の顏へ持つて行くと兩眼をこすつた。そして面倒そうな手附きで傍の少年を搖り起した。

檢閲吏は、次ぎから次へと、乘客の安眠を妨害し盡して行つた。そして時々、亂暴な聲をはりあげて吐鳴り散らかすこともあつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「役にも立たない襤褸を何する。臭いッ」
「ヨボの臭いのには閉口たし」
「…………」
「ヨボ、旅行證明有る」
「はい…………」
一人の老婆が、狼狽てながら汚れた布袋の中へ手を入れて、紙切れを探すようであつた。
「出してをくようにと注意したぢやないか……」
「はい…その…な…」
それでも見付からないので、老婆はも一ツの方の風呂敷包をほどいた。彼女はいよ〳〵狼狽て出した。
「ヨボ！ぐづ〳〵するな。馬鹿！」
若い方の憲兵が吐鳴つた。
「その丸いものを明けて見せろ」
「これはな、見せられないもんたよ。お前さん！」
「ヨボ、見せッてば……」
「何でもねいたよ……」
檢閲吏の助手が老婆の抑制する手を取り押さへた。そして丸い包みを皆の前で開いて見せた。汚れた包みの中からは、黄ろい錆がゝつた眞鍮製の壺が現はれた。それは、この國の人々が室内で使用する蓋のついた小便器であつた。
「便器た！臭ッ！」
若いのが叫びながら危險物でも除けるやうに、それを腰掛の下へほうり込んだ。
「たから言はねえこッちやねえたゝよ」
退屈紛れに此處側を見てゐた連中が、ふき出すやうに笑ふ聲がした。
「馬鹿！」
憲兵の叱責する聲が聞えた。そして彼は、呟くやうに付け加へるのであつた。
「臭い便器を背負つて歩く奴は、お前達ばかりだ。まるで豚のやうな劣等民族た」
憲兵は、急に思ひ出したやうに、外套のポケットから白い綳帶製のマスクを出して鼻口部へ當てた。そして、次の番に鋭く視線を射つた。
汽車に乗つてゐる者は、すべてが悉く、この國に於ける貧農階級の人々であつた。そしてそれらの人々は、各自一人〳〵の旅行ではなかつた。しかも二度と故國へ歸れるかどうか知らない、家族揃ひの貧しい旅路であつた。それは、移住の途中であると云つた方が適切であらう。

彼等は、悉く、ありつたけの家財を疊んで汽車の客となつてゐる。家財と云つても、破れた風呂敷包みに薄汚い布團が二枚位と、ゴザでくるめた、古着の衣類が若干あるばかりであつた。それは、あつてもなくても良いと云つたやうながらくたものばかりであつた。青く錆がかつた眞鍮製の便器と、角の缺けた、しかも曇つて映らない名ばかりの鏡を大事そうに持つてゐる四十前後の女がゐる。けれども讀者よ、笑ふ勿れ！それは彼女等のたつた一つの大事な若き日のかたみなのだ。嫁に來る時、「大事にしてをきな」と云はれた、唯一の持參品なのだから。
檢閲が濟んだ中年の夫婦は、いま若き日の甘つたるい幸福であつた生活を追想してゐるのだらう。また村にゐた頃、自由で幸福であつた溫かい家庭愛の幻影でも見てゐるのであらう。彼等は、長い無限な沈默を守つてゐた。女は泣きはらした兩眼の縁が涙に濡れてゐた。彼女は、寒氣のため寢返りを打つ、幼子に汚れた醜氣のある襁衣の一部をかけてやつた。男は、裁きの前に佇んだ罪人のやうに、默々として女の方に視線を投げてゐた。
「あなた」
漸く、彼女が口をきつた。ひざの上に乗かゝつてゐる子供の頭部をさすりながら彼女は男を呼びかけた。その聲は、低くふるへてゐるかのやうにひゞいた。
「なんたい。」
氣の抜けた人間のやうに、ぼんやりとしてゐた彼は、眠むりから醒めたときのやうにはらりとした。そして彼は、つとめてやさしく妻に接しやうとした。
「いつ彼處へ着くのでせうか……」
「さうたね、明日の夜になりさうたな…」
「あちらへ着いたら何方か迎へに來ていらして？」
「誰も……」
彼には妻の質問は非常識そのものゝやうに聞えた。未だかつて、行つたことも、見たこともない外邦に誰か乞食のやうな浮浪民を心良く出迎へてくれる者があるだらう。彼は、急に淋しくなつて來た。そして彼の眼には、隱すことの出來ない熱い雫が結ばれてゐた。しかし彼は、つとめてそれを隱そうとした。そして妻の眼の前では、なるべく樂天的な氣持ちを裝うて見せた。
「でもう、お金もありやしないし……」
彼女の面には、言ひ知れぬ憂愁が秘んでゐた。彼女は、住むに家なく、一文も持たずに、何處へ行くやらあても知らない旅にある自分達が、悲劇中の最も悲壯な主人公の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

やうな氣がしてならなかつた。彼女の熱い涙の雫は限りなく落ちてゐた。

「まあ何とかなるよ！俺がうんと稼ぐた」

とは云ふもの丶、その實彼自身も心の中では、明日の晩が氣になつて仕樣がなかつた。いかにして生活の手段を得べきか。それにしても彼は、そこいらの人間を引捕へて來て自分が何のために、そして何處へ、何をしに行くのであるかを質してやりたかつた。そして金一嵩と云へば村中で堅いで有名な人間でありまた村一の金持ちで通つて來たこの自分が、一體どういふ因果で恁うまで落ちぶれて仕舞はなければならなかつたかを說いてやりたかつた。

それは夜の暗闇に似た自分の胸を慰やすのに、唯一の方法のやうに彼は考へられた。ふと彼は、國を出るとき村長が云つた言葉を思ひ出した。そして着いたら直ぐ、K島領事館を訪れて見やうと思つた。そしたら恵み深いお役人樣の指圖で何かの職にありつくことが出來るだらう。村長は言つた。

「彼處には、移住同胞保護のため、領事館が置いてある。そして移住同胞のために相當な田地を分割してくれて一定期間の耕作が濟むと、それが無償で拂下げになつて仕舞ふ。K島は、無限の寶庫だ。働きさへすれば、誰でも成功確實だ。不平を唱へたり不逞運動に加はらない限り、何でも五六年も經ては、各々小地主になつて仕舞ふとか……。」

しかし村長も、これ以上はつきりしたことは知らなかつた。彼と云つても上の役處から來た公文や、總督府あたりの若い屬官の演說を受け賣りするに過ぎなかつた。そう思ふと、彼は急に氣が引けてならなかつた。そして、また新しい不安が心の底から込み上つて來るのであつた。「役所あたりで云つてゐるやうな、移民獎勵の宣傳は、みな嘘で、うつかりその手に乘るが最後見知らぬ地で飢死するのが關の山だ」と云つた村の友人の言葉が未だ耳底に殘つてゐるやうに思ひ浮んで來た。彼は、それが長い間彼處で〇〇運動に從事する尊敬すべき先輩の便りであると云つた。そして最後に「誰の云ふことよりも、最も信賴するに足ることだ」と付け加へるのであつた。

「何んとでもなれ！なりゆきに任すばかりさ、人間到る處に青山ありだ」

彼は、男らしく複雜な煩悶を一蹴したかつた。しかし現在自分の眼の前で、不安そのもの丶やうに首垂れてゐる妻の青白い顏を見ると、その氣持ちは跡形もなく消へて去るのであつた。

「村長の言ふことは正しい。俺は村長の言つたことを信じよう」

彼は村長の言を信じることに依つて、複雜な事件を樂天的に解決せうと思つた。またそれは、萬更嘘のやうでもなかつた。近い話が、自分の村に來てゐる二人の移民は〇〇拓殖會社指定の田地を耕作することに依つて、やがて彼等は村一の小地主となつて仕舞ふ。十五年も續けて耕作すれば、廣大なその田地が移民のものになつて仕舞つた實例は、彼の知つてゐる範圍でも尠くはなかつた。そして彼は「彼處ではC人が、この國に來てゐるN移民のやうな特權があつて、丁度彼等のやうな資格と、待遇を受けることが出來る。之は、かたじけない、大日本帝國の新附の同胞のみが有する世界的光榮である。諸君は一日も早く彼地へ行つて、國のため、身のためにいそしむが良い……」と、郡役所あたりの役人から聞いた演說が、急に頭に浮んで來た。

「そうだ全くそれに違えねえ」と彼は思つた。そして役所の云つてゐる移民の宣傳が嘘八百であるといふのは、彼が〇〇運動家であるためである。だから村長も、特に「不平や、不逞運動に參加しない限り……」と注意までしたではないか。それで彼は心秘かに「俺は小地主になるまでは、一寸もそんな運動には參加しない」と確信を持つた。

「しかしそれが果して眞實であるだらうか」何時となく彼の腦裡には、またこうした新なる疑問が浮んで來るのであつた。彼の腦には、夢のやうに複雜な幻想が展かれた。丁度それは、この國がN國と合併をした當時の事であつた。何萬といふC人が彼地へ移住して行つた事か、「住み良き處所」「東洋の寶源」「未來の文化の都」「かつては我れ等が祖國の一部であつた」何と云つても、慌ただしくK島地方へ移住を斷行して去つたことを、彼は今でも覺へてゐる。その頃はK島地方へ移住するを恰も先覺者の叡智の如く思つてゐた。一種の流行病のやうに、到る處、人々は移住熱に浮かれてゐた。彼の父でさへ、あんな老齡をして「わしもいつそうのことK島へ行くべきか」なぞと呟いたことさへあつたのだ。それはもう二十年にも近い昔のことである。その二十といふ歲が流れる間に、いかに多くの人間が希望のK島に誘惑されて去つて行つたことか。またその中には彼自身の如く、住むに家なく、耕すに田地がない理由の下に、やはり離鄕の未墾地へ流浪せざるを得ない運命の當事者がいかに多いことであらう。小さい自分の村落でさへ、その間に何千人の家族が、現在の自分の姿に似た格好をして村を去つて行つたことであらう。彼等はこの汽車で、やはりこの汽車に乘つてゐる何千人の家族と同じ姿で鴨綠江を渡つて行つたのだ。またこの次ぎ、幾十萬人の放浪民が怪物のやうな鐵橋を渡るであらうことか。それは恐らく、彼等の最後の一人までこの鐵橋が、便利な文明の利器として利用されるであらう。

後の方の扉の方で、また金具の音ががちやんと鳴つた。そして身を切るやうな凍つた風がひゆうつと雪崩れて來た。車室の人々は、またかとばかりに、力なく眼ぶたを瞬ぎながらどよめき出した。車室の狹い通路には、七八名の若者が手に捕繩をかけられて、憲兵の後に從いて行つた。人々の視線は、一時に中央に集中した。そして彼等の瞳は好奇に輝いてゐた。

一行が通り過ぎると、人々は各々の家族相手に「〇〇運動家だ」「不逞C人だ」「密渡者だ」のと勝手な想像をならべ立て丶ゐるのであつた。（續く）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

特別讀物

社會主義運動思出話（其九）

—第五齣— 足尾の爆發—續き—

岡野辰之介

世民 吉川守邦氏（明治三十九年）

張所から第三區見張所に至る斜鄰下大黑斜附近に集合したのであつた。五六人の坑夫が第三區見張所の傍に石を運んで居つたが、之れを見た三百餘人の集團は喊聲を擧け、山津波のやうに押し寄せて來たのである。そして其處に運ばれてあつた石を第三區見張所に投げ込んだのである。又、御手のもの〻ダイナマイトを投げ込んだものもある。何條以つてタマるべき、同見張所は瞬く間にメチヤ〳〵に成つた。此處がモウ宜いと見るや、轉じて光盛第一竪坑地並第二區横間歩、第三竪坑地並の各見張所の破壞に取り掛かつた。之れも忽ち破壞してしまつた。今度は二十四號鑛入口の電線三條を切斷し二十三號鑛入口の物置、出會坑見張所等を破壞し、七號鑛で電車八輛を引つ繰返し、檢水見張所を破壞して、十時頃出て來たのである。そして坑場や巡視見張所其の他の建物に投石したが、之れは大した損害を與へるに至らなかつた。其處へ南助松が駈けつけて、マア〳〵と留め男に成つたのである。

八、通洞の破壞

其の頃の足尾銅山は通洞、本山、簀橋、小瀧の四ケ所に分在して居た。多分今でもそうたらう。前にも書いた通り、飯場頭——頭役ともいふ——の煽動に乘つて騷いたのは、通洞の支柱夫、運搬夫、雜夫等であつて、本當の坑夫ともいふべき掘夫は與らなかつたのである。されば南助松を初め至誠會の幹部は、何故に今朝騷ぐかを知らなかつた。二十四個條の要求は未た出して居らず、會社に向つて威を示す必要もないのである。其處で彼は聲を枯らして之れが鎭撫に當つたのであるが騎虎の勢ひとなつた坑夫は四日にも可成り破壞をやつたり、五日には簀橋と本山が之れに着手し、六日には本山が非常にアバレたのである。そして四日の暴動が飯場頭乃ち頭役の煽動に依つて起つたことは、裁判の進行中に自然と分つて來たのである。そこで彼は初めて會社と頭役とがグルに成つて、少しはかり暴動をやらせ、彼を其の首魁として引つくゝらせたことを知つたのである。

然し、會社側の策戰は見事に行き過ぎた。少しはかり騷いで貰はふとしたのであるが實は無理な注文であつた。山と積んだ火藥に點火して、端の方を少しはかり燒かうとするやうなものであつた。昔虎の子を飼つてゐた人が之れに自分の手を甜めさせるとツイ少しはかり血はしつた。血の味を知つた虎の子は猛然として主人に飛びかゝり、之れを食つてしまつたといふ咄があるが、資本家の策戰は虎の子に手を甜めさせたのである。そして虎の子たる坑夫は血の味を知り、遂に足尾全山を燒土たらしめるに至つた。卽ち主人を食つてしまつたのである。

四日にやつた通洞の破壞は、資本家の旨を受けてやつたのではあるが、寧ろ默認せられたといふ形なので、チヨツトやつたにしては可成り大きなものであつた。同日午前七時半平常に異らず入坑したのであるが、三百餘名坑内第三區光盛第一竪坑地並見

九、簀橋と本山の破壞

原因は分らないが通洞の暴動は全山に響渡つた。或は至誠會の暴動と思つたかも知れぬが通洞暴動報一度簀橋に傳はるや、簀橋の坑夫は後れてなるものかといふ意氣込みで起つた。それは翌五日の朝、交代時であつた。百名はかりが坑口外に屯集して、引上げて出坑して來た坑夫百名はかりと合し、二百餘名一團となつて破壞に取り掛つた。先づ簀橋坑口見張所を破壞し、其處の電話線を切斷し、方々火藥庫を破壞せんとしたのであるが、之れは其の窓ガラスを破壞したはかりで、爆破するまでには至らなかつた。簀橋の破壞はこんなもので濟んたが、此の後に起つた本山の破壞は眞に暴威を逞ふし、全山を燒土に化せしめたのである。

本山の坑夫は五日朝例の如く入坑して、ダイナマイトを受け取つたのであるが、既は通洞の破壞を傳聞して居るので、仕事が手につかなかつたのである。そして正午近

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くに成つてから、甲見張所附近で電車の進行を妨害したのをキッカケに、愈近くなる甲見張所を襲撃したのである。矢板や鑿やを持つて、先づ窓ガラスを破壊し、現場員三名に傷を負はせて、漸次坑外に出て来たのである。五日の破壊はこんなものであるが、六日に成ると午前七時半入坑夫と會して甲乙丙の見張所を襲撃して之れを破壊し二百名は本口坑から坑外に出て來る、六十名は丁見張所を破壊したのち、之れも二番坑口より出て來る、之れが一團となつて本口坑口の見張所をメチャ〳〵にし、導火所附近に至つてダイナマイトを爆發せしめた。之れが破壊の終結を意味する合圖であつたのである。之れを聞くと等しく三百に近き荒くれ男が行木坑入口の坑場に亂入し手に觸れるもの目に入れるもの、書類といはず器物といはず。當るを幸ひ破毀し、或る者は第一撰鑛所に火を放つたのである。併し之れは警官が消し止めたので大事に至らなかつた。

一〇、南所長重傷を負ふ

「所長の役宅をやつつけろ」

と呼ぶ者がある。

「それ行け!」

と群衆が呼應する。三百餘人もみにもんで倉庫の前の高い所にあつた挺三の役宅に馳せ向つた。其處は住居と、土藏と、風呂場とがあつた。挺三は配下の役員二名と奥まりたる室で何か謀議して居たが家人より暴徒襲撃の報を聞き、而も裏表から數百名押し寄せたといふので咄嗟に疊を上げ椽板をめくつて、椽下に潜んだのであつた。併し澤山の目を誤魔化すことは出來ず、炭部屋から引出された髙の師直もさきに、椽下から引張り出された圖は何とも形容出來なかつたらう。

或る者は二人の役員をブン擲る、或る者は挺三をブン擲つた。挺三は顏面數ヶ所に負傷し血だらけに成つて、人事不省に陥つたのである。是に於いて彼等は挺三を舁いで本山醫局に連れて行つた。ゾロ〳〵と後から尾いて行つて、手術臺上の挺三に對し口々に罵つたのである。挺三ばかりではない、警衛の鈴木、後藤、蓮沼三巡査も傷を蒙り、僅かに身を以つて免れたといふ。群衆は轉じて調度課を襲撃し、器具や書類を破毀して坑場前の空壕に投げ入れ、之れに火をつけて三ヶ所ばかりに焚火を始め、坑場内から器械や器具や書類を持つて來ては之れになげ込み、火焔がドッと揚がるとワット喊聲を擧げた。其の聲足尾の山岳を震撼せしめたとある。

所長をやつゝけたのは本山の坑夫で、夫れから倉庫内局庶務課を襲撃して、課長川地喜三郎、坑部課長木部一枝に大怪我をさせたのであつた。南所長をやつてから、第三區長高島虎五郎をやり、之れも二百名ばかしで醫局に擔ぎ込んで置いてから、坑場方面に引上げたのであつた。外の一隊百名ばかりは役員の所在捜索に取り掛つた。出入商人の所で潜んで居て見つかるのもあつた。役員をかくまつて破壊せられた商家や平素坑夫に憎まれて居て破壊せられた民家もあつた。此の一隊が倉庫内の石油小出し庫の廊下に、外で焚火をして居つた所から、火の點いてゐる木片を持つて來て山と積んだから堪らない。同小出庫は忽ち焔の塊と化し、續いて倉庫、其の他を燒失して尚ほ止まらず、家屋百十六戸を烏有に歸せしめた。此の中には勿論南挺三の役宅其の他の役宅があつた。此の百六十戸といふのは總數で、棟數は四十八棟となる。多分百軒長家の燒けたのも含んで居たと思ふ。

一一、役員身を置くに所なし

平素威張つてゐた役員は、片つぱしから家を毀される、痛い目に會はされる、果ては燒き拂はれる、總勘定に出會つたのである。そこで或は町家に隠れ、山中に潜む等イヤハヤ目も當てられぬ有様であつた。前に一寸書いた高島虎五郎の如きは自分の家の燒けるのを見ながら、田島猶吉といふ男と二人材木小屋に隠れてゐた。スルト大勢の坑夫がやつて來て、其の戸を明けやうとするので、二人は氣が氣でない。トウ〳〵戸を明けて初めに見附かつたのは高島であつた。そして散々擲ぐられて負傷したのを彼等は醫局へ運んで行つたのである。

次に田島が見附かつた。此の男氣轉が利いたと見えて、

「自分は山林官である」

とやつた。すると暴徒の中に、

「山林官を擲ぐるのはヨセ〳〵」

といふ者があつたので、危く痛い目を免れ、其所を逃れて子持澤の方に行き、山神様の裏から粘山に上つたのである。

所が後で坑夫は、今のは山林官でもなんでもなく、坑場長であつたことに氣附いた。「坑場長なら逃がすナ」「それ追つかけろ」といふことに成つて、四人の坑夫が追つて來たのである。そして粘山に登つた所でつかまつた。そして彼等が

「居た、居た、場長の野郎が居た」

と後方に向つて叫ぶと、又四人やつて來たのである。八人して、

「此の野郎打ち殺してしまへ」

「下へ連れて行つて、多數の前でブチ殺そう」

と口々に罵り合つた。そしてとう〳〵

「此の野郎、山林官たなんてウソつきやがつて引き摺り卸ろせ」

と手をつかまつた。そこで彼は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「全くは場長だ、山林官といつたのは惡かつたがドウゾ助けて吳れ」と泣聲出して謝まつたのである。中の一人が、「早く賃銀の値上げさへすれば、こんなことにはならなかつたんだ」といふを聞き、彼は早速、「賃銀値上げのことなら、職を賭して盡力するから助けて吳れ」と哀調悃願したのである。所が之れを聞くと坑夫も、

「アンナに云ふんだから助けやう」

といふことになり、打ち殺されずに濟んだ。

こんなことを一々書き立てたら數限りもないから、之れ位にして止めて置く。

かくて巡査隊では如何ともすることが出來ず、憲兵隊でもドウにも成らず、遂に宇都宮師團から軍隊を繰出して漸く鎭撫したのであつた。

二二、助松等無罪となる

四十年二月四五六に亘つた此の足尾の大爆破は南助松が首魁のやうに傳へられて居る。モシ彼がやつた演說が此の大爆破を誘致したといふならば夫れに相違はないが併し彼は此の暴動には直接關係がなかつたのである。されば彼は此の大爆破の精神的點火者であつて、直接の點火者は岩圖らんや會社自身であつたのである。それも金山をメチヤくにしやうと思つたのではなく、チヨツト騷がせて南助松其の他の至誠會幹部を引つくゝる口實が作らうとしたのがこんな大事に成つてしまつたのである。

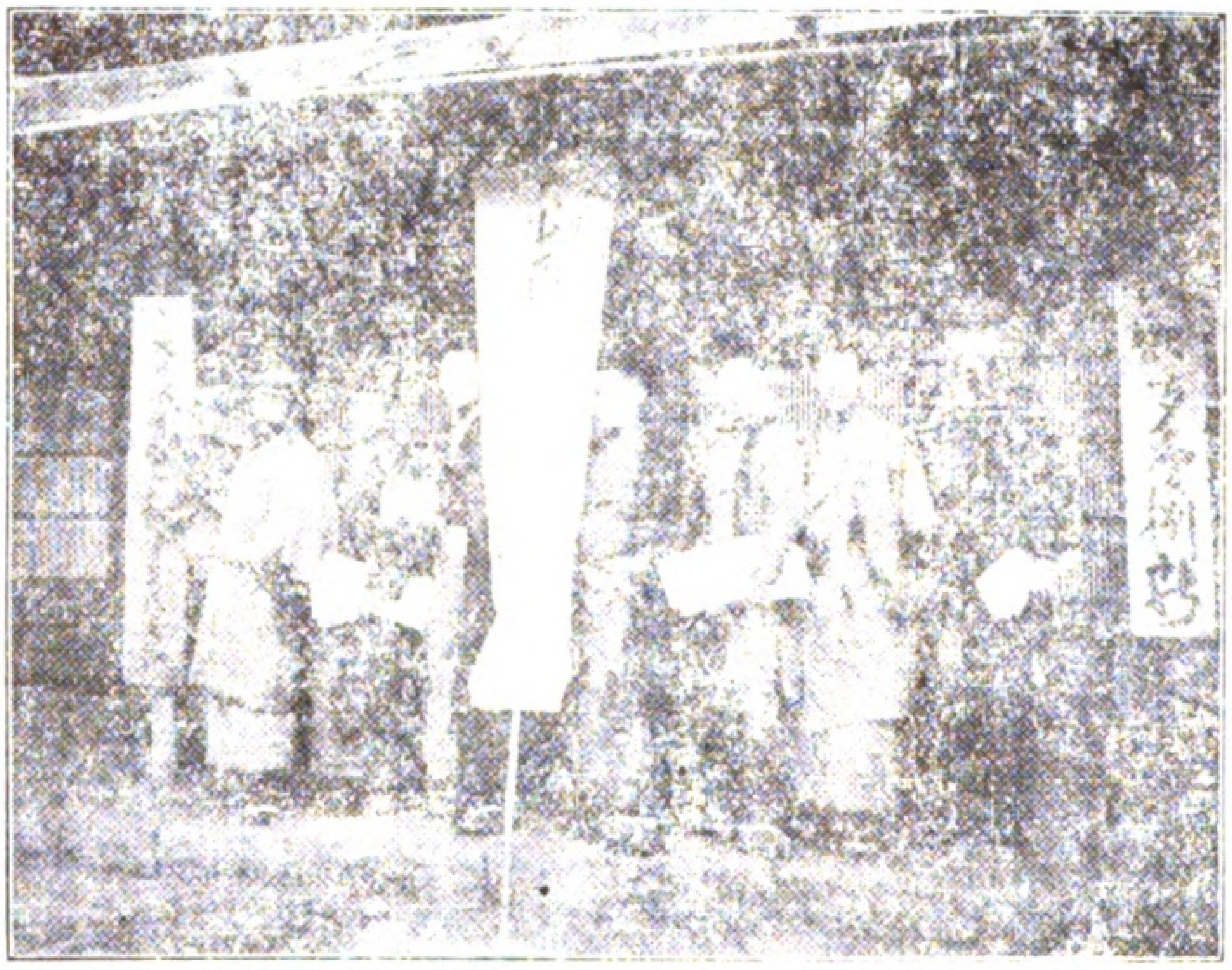
至誠會の幹部を引つ張つた訴狀には次のやうに書いてある。

「十數回演說會を開催し、口を極めて鑛業所長及び役員を攻擊し、過激の辯を用ゐ其目的を達せんが爲めには團結して非常の手段を決行すべしと說き、被告助松、鶴藏は坑夫等に暴擧を使嗾し、被告伸午小太郎利一郎は其暴擧を敎唆し、爲めに坑夫等の鑛業所及び其役員に對する反抗心は殆んど其極に達し、一合下れは直に暴擧を決行すべく一致團結を見るに至りたり（中略）被告助松鶴藏は命令一下暴動行爲を以て其の要求を容れ しめんことを謀議し、且表面鎭撫を裝はんと圖り、同月三日被告鶴藏は坑夫交代の際混雜に乘じ、通洞坑內に入り二區三區を經て、午後六時頃三四區見張所の下方斜坑道に於いて、多數の坑夫に對し翌四日見張所破壞の暴動を爲すことを指揮したるに、坑夫等は直に之に應じ」たとなつてるが、誰の調査にも鶴藏が通洞坑で、そんなことをしたとはいつて居ない。

そこで宇都宮地方裁判所は、

「十數回演說會を開き、坑夫等の爲め鑛業所及び役員の行爲を攻擊し、爲めに傍聽の坑夫等は大に感動したる事實と、各山中委員聯合して協定したる二十四ケ條の請願書は、二月六日を期して鑛業所に提出する事に決定したる事實は、之れを認め得べき證憑たるも、其他の事實即ち被告助松鶴藏が本件の暴動を使嗾し、且つ暴動の首魁なりとの事實、被告伸午、小太郎、利一郎が本件暴動を敎唆して決行せしめたりとの事實は、孰れも之れを確認すべき證憑不十分なり」とあつて、何れも無罪に成つた。

右に據れば『山中委員と聯合協定した二十四條の請願書とあるが、山中委員とは聯絡はあつたが、至誠會の請願には山中委員は加はらなかつたのである。そして山中委員が十七個條の要求を出したことは前に書いた山中委員といふのは古くから坑夫をやつて居るもので、個人であつて山では勢力があつたのである。



この寫眞は平民新聞創刊を賣擴めに出掛けた時の記念に撮影したもの見本二百五十部は直ぐ賣切れになつて仕舞つた
向つて右より　南助松・泉（理髮師）・山本利一・井守伸午・加藤榮松・林小太郎・永岡鶴藏

二三、足尾勞働運動の始祖永岡

永岡鶴藏が勞働同志會を起したことは前に書いたが彼は足尾で鑛山勞働を起した元祖である。勿論彼も片山潜、西川光次郎及び平民新聞の感化を受けたもので ある。彼は非常に足尾の坑夫が、公判廷で義俠心を起し、他をかばひ、己れ罪を背んじしたことを誇つて居た。イザ友達の爲めとか、親分の爲めとか、兄弟分の爲めとかなれば、火の中水の中も何のそのといふ俠心がある」といつてる。彼は生ッ粹の坑夫であつた。明治十三年に歲十八で大和國吉野郡宗日鑛山で手子といふものに成つた。手子といふのは坑夫の掘る鑛石を運搬したり、坑夫の小遣用達しをするもので、其の頃の坑夫は蓆で作つた尻あてといふを尻を當て、繩でこしらへたヒーイカケといふものを肩から掛けて居た」といふことである。ヒーイカケは鑛石を運ぶ道具なのである。彼の當時のことを書

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いたものに面白いことがある。「昔の鑛石採掘者は隨分威張つて居た。金も儲かるし、其の近村の者は金掘りが來たと云ふて、尊敬もすれば娘たちも惚る。絹布を着て金があるから坑夫は立派をものと思ふて居た。近頃の坑夫は下から上までボロ〳〵であるから、世間の人は輕蔑し、娘は惚ぬ代りに犬が吠へる」たと。其の頃の歌に一向ふ通るは金掘りさんよ。紙幣がこぼれる袂から—といふのがあつたと書いてるが、シツや賤しづの小田卷繰返し、昔を今に爲す由はないものか？

彼は明治十六年伊豫國新居郡白味鑛山に轉じた。それから備後國サン名といふ銅山に移り、後備中美作冬鑛山を廻り、生野銀山を經て、足尾に流れ込んだのである。夫れが十七年で、昔は金掘りは名字帶刀を許されて居たので、渡り歩くことを浪人といつたさうた。彼れ生野銀山で古河に雇はれることゝなり、神戸から乘船し東京につくや三名の店員に案内せられて東京見物をしたとある。勿論同行もあつて、吉原で古河から受取つた金を使ひ果し、捕縛になつてるのを再び市兵衞が金を出して受出して呉れたと市兵衞の人使ひのよいことを書いて居る。足尾へ行つてからは一ケ月五十圓七十圓といふ稼ぎがあつたといふことである。それから越後の草倉銅山だの、秋田の院内銀山だのに稼いで再び足尾に戻り、勞働同志が少くなつてから、納豆賣りをしながら足尾攻撃のラツパ節、富の鎖、秋田音頭等を歌つては、勞働者の覺醒を圖つて居た。夕張りにも居たことがある。南助松と知つたのは同地に於いてである。

監獄を出てからは東京で色々なことをして居た。それから片山の社會新聞に入り坑夫組合を企て、足尾に遊説したりして居たが後ち何か破廉恥罪で獄中に死んだ。文久三年生れであつたから、生きて居たら七十に近い。

進め社だより

×

本號は七週年紀念號である。同志諸君の手に守られて、こゝに伸び行くわれ等の「進め」を見る時闘争心がいつぱいに湧き上つてくる。そうだ戰はねばならない。

×

去る三月五日夜、治安維持法死刑法が衆議院を通過した夜、山本宣治代議士が黒田保久二なる者の兇刄に倒れた。無産階級の解放の爲め戰ふ人々にとつては、反動の兇刄に斃れるのも或ひは免れられぬ運命であるかも知れない。わが社は直に神田光榮館に弔問し、又三月十五日の勞農葬には宮川君が弔辭を述べたが、横暴なる官憲によつて中止を命ぜられた。赤旗につゝまれ永久の眠りに入る同志を前にして、われわれは闘志を新にしてその死を意義あらしめねばならぬ。

大衆の中へ！そして、大衆と一歩も離るゝことなく大衆を前に前進せしめよ！

即ち、この言葉こそ、階級的先進分子の片時も腦裡より放してならない資言でなければならぬ。

月刊 勞農戰線

神戸市夢野清水五四
勞農戰線社
一部五錢 一年六十錢

發行所

×

四月中には日本大衆黨全國大會が開かれる。この大會はあらゆる意味で重大である。われわれは、「全國大會の階級性を守れ」のスローガンを掲げて進むものは、この大會を通じて日本大衆黨の反動幹部を葬り、反動へと逆轉しつゝある社會民主主義的統一主義を打破らんが爲めである。競つてこの大會に參加せよ。反動幹部をたゝき出せ。

×

第五十六議會終る。田中反動内閣の厚顔無恥には呆れざるを得ない。しかし、田中内閣の運命は盡きてゐる。東京市會選擧の結果を見ても分るではないか。われわれは今や全土に捲おこされつゝある市町村會議員選擧を通じて既成政黨の根幹、資本家地主の土臺を打破し、××××の政府樹立の大衆的基礎を獲得せねばならない。大阪市會へは、本社關西事務所の吉田源藏氏が立候補する。絶大なる應援を御依頼する。

×

本號には資料として全國勞農青年同盟の教育方針書と、朝鮮勞働黨運動小史を掲載した。後者は朝鮮日報紙上に連載されてあつたのを飜譯したものである。

ハガキ回答として出した「田中反動内閣の運命」は極めて漠然とした問題の爲め、回答も極めて困難であつたと思ふが、回答しられた諸氏に對して厚く感謝する。

福田狂二氏の「理想鄕を造らんとして支那革命に從ふ」は來月あたりから再び執筆して貰ふ事にする。吉田金重氏の創作は當分打切る事にした。代つて金光旭君の力作「移住民」を御紹介する。帝國主義ブルヂョアジーの殖民地民族に對する壓迫を見よ。岡野辰之介氏の「社會主義運動思ひ出話」は愈々佳境に入らんとする。山本宣治氏の追悼の諸論文及び追憶記われらの勇敢なる闘士を弔ふにはふさはしきものであらう。

×

本社は都合により次の如く移轉した。

東京市外大井町坂下三六〇
進め社本部
東京市芝區櫻田本郷町一四
進め社事務所

御來訪はなるべく事務所の方へ願ふ。東京電燈の前である。

朝鮮の同志の手に「進め」が渡らぬ前に何者の爲めにか強奪盗まれることの屢々たるものがある。今更ながら警察の狂犬振りに驚く。未到着の時は直に御報告を願ふ。

東京上野 實用百貨 銀座

松阪屋

大阪日本橋 良品廉賣 名古屋

お買物は三越へ

品質が良く、新流行品揃ひにて、價もまた低廉です

三越はデパートメント、ストーアですから日常生活に御必要なお品は大抵揃へてあります

・何と申しましても良い品は東京に限ります、東京でも三越の品ならばお安心してお買物が出來ます。

地方からのお註文はお手紙にて通信販賣部へ御一報下さいますれば迅速にお送り致します

三越

東京駿河町

いつも若くて美しく健やかでありたいと望まば婦人よ乞ふ召せ

喜谷實母散（きだよじつぼさん）

◎偽物あり御購求の際は喜谷實母散と御指名願上候

◎全國到る處の藥店にあり

定價表	送料
壹貼 貳拾錢	二錢
參貼 五拾五錢	二錢
七貼 壹圓貳拾錢	二錢
拾四貼 貳圓參拾錢	六錢
卅一貼 五圓	三錢

本舖 喜谷市郎右衛門

東京市京橋區中橋大鋸町

電話京橋五五番五六番

振替口座貳壹五四番

金.銀.白金

徳力本店

東京神田松田町

電神 25 { 216. 235. 221. 976. 450.-(營業用)

銘酒 澤之鶴

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和四年四月一日發行
同　四年三月廿八日印刷納本
第七年第四號
毎月一回一日發行
定價一部十錢（郵稅五厘）
半年六十錢　一年一圓（稅共）
廣告料　一行一圓　一頁三百圓
發行所　東京市外大井町阪下二六八〇番地（振替東京六九八三）　進め社本部
發行編輯兼印刷人　神庭仲之助　大阪市東淀川區十三西之町三　大阪事務所

森永ミルクキャラメル

一個五錢・十錢

實用本位の百貨店

高島屋

お客様本位の百貨店

純獨逸式
ユニオンビール
天然鑛泉
三ツ矢サイダー
金線サイダー

最新の
設備と科學と精選したる原料とを以て製造したる當社のビールとサイダーは各位の向上せる御嗜好にかなふ最優秀品でございます　ぜひ御愛用の程お願ひ申上げます

宮內省御用達
日本麥酒鑛泉株式會社
東京・大阪・名古屋